

平成29年度 東京都小学校体育研究会 実証授業

表現運動系領域部会

東京都小学校体育研究会 研究主題

三つの資質・能力の関係性を明確にし、

運動や健康についての課題に主体的・協働的に取り組む児童の育成



【本日の講師】

足立区教育委員会

統括指導主事

石坂 泰 先生

〈実証授業参観のポイント〉

- 三つの資質・能力の具体的な学習状況が明確になっていたか
- 主体的・協働的に学ぶ姿を引き出す学習過程になっていたか
- 想定されるつまずきに応じた手立て（言葉掛け集等）は有効だったか

【実証授業】

日時 平成29年11月2日（木）13：40～

場所 葛飾区立北野小学校
（最寄り駅 JR常磐線 金町駅 徒歩17分
京成金町線 柴又駅 徒歩9分）

単元名 表現運動 リズムダンス
「レッツ 北野ダンシング」

指導者 第3学年2組 沖野 匡則 主任教諭

平成29年度 表現運動系領域部会 実証授業資料 目次

【表紙・目次】

研究の概要

- | | | |
|---|---|------|
| 1 | 研究主題 | P 1 |
| 2 | 研究主題設定の理由 | |
| 3 | 研究の視点について | |
| 4 | 研究主題の設定理由を受けた部会の考え方 | |
| 5 | 研究の視点についての考え方 | P 2 |
| | (1) 研究の視点1「三つの資質・能力の具体的な学習状況」についての考え方 | |
| | (2) 研究の視点2「三つの資質・能力の関係性を踏まえた学習過程の在り方」についての考え方 | P 8 |
| | (3) 研究の視点3「三つの資質・能力を育むための指導と評価」についての考え方 | |
| 6 | 研究主題に迫るための学習を促す手だてについて | |
| | (1) 「知識及び技能」を身に付けるための手だて | P 9 |
| | (2) 「思考力・判断力・表現力等」を育む手だて | P 10 |
| | (3) 「学びに向かう力・人間性等」を養う手だて | P 11 |
| 7 | 年間指導計画 | P 12 |
| 8 | 運動が苦手な児童への手だて | P 17 |
| 9 | 学習資料 | |
| | (1) 一単位時間の指導の例 | P 23 |
| | (2) 心と体をほぐす運動例集 | P 29 |
| | (3) 本単元で使用した易しい運動 | P 35 |
| | (4) リズムダンスにおける4つの工夫について | P 37 |
| | (5) 表現運動系領域におけるめあて学習の考え方 | P 38 |
| | (6) 教師用授業イメージマンガ | P 39 |
| | (7) 学習カード | P 45 |
| | (8) BGMリスト | P 46 |

1 研究主題

「三つの資質・能力の関係性を明確にし、
運動や健康についての課題に主体的・協働的に取り組む児童の育成」

2 主題設定の理由

本研究会では、これまでの研究の成果と課題及び次期学習指導要領の方向性を踏まえ、児童が体育の学習に取り組む目指すべき姿が「自ら課題解決に取り組む姿」であり、自ら課題解決に取り組めるようにするために重視する学習活動を「主体的・協働的な学習活動」と捉えた。

体育科での「主体的・協働的な学習活動」は、児童の学習が、運動領域である体育については「粘り強く意欲的に解決に取り組むとともに、自らの学習活動を振り返りつつ、仲間と共に課題を解決し、次の学びにつなげる」という過程を経ることによって、保健については「健康課題に関する課題解決的な学習」によって導かれるものであると考える。このような学習過程は、一つ一つの学習活動そのものが目的なのではなく、常に、「三つの資質・能力」をバランスよく、確実に身に付けることを目的として構成され、工夫・充実されなければならない。また、体育の学習過程は、「三つの資質・能力」の関係性を明確にし、単元や学習指導の各場面において、効果的に指導することが求められる。

このような学習が、児童の発達の各段階を通して繰り返して行われることにより、児童が生涯にわたって能動的に学び続けることができるようになる。つまり、運動やスポーツ、健康な生活の実践、体力向上を自らの生活の中に位置付け、これらに関する課題を自ら解決するために必要な力が育まれ、自らの生活の向上を図るための資質・能力を身に付けることができると考える。

このことが、体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、生涯にわたる豊かなスポーツライフを実現することにつながると考え、本研究主題を設定した。（調査研究部）

3 研究の視点

新学習指導要領の全面実施までの移行措置期間に当たる時期となるため本研究主題を3か年間継続し、以下の視点によって年次を追って研究を進めて行くこととする。

- (1) 研究の視点1 = 1年次の中心となる視点
 - 三つの資質・能力の体育科における具体的な学習状況（児童の学びの姿）
- (2) 研究の視点2 = 2年次の中心となる視点
 - 三つの資質・能力の関係性を踏まえた学習過程の在り方
- (3) 研究の視点3 = 3年次の中心となる視点
 - 三つの資質・能力を育むための指導と評価

4 主題設定理由を受けた部会としての考え方

昨年度の研究の成果と課題

- リズムダンスにおけるよい動きの整理と児童のつまずきに対する支援の提言（成果）
- 思考・判断の指導内容の整理と思考・判断を促す言葉掛けの提言（成果）
- 「習得」→「活用」という学び方を身に付けさせるための留意点を明確にすること（課題）
- 実践的で分かりやすい研究内容を提示し、一般化するための資料等を作成すること（課題）

新学習指導要領の改訂を踏まえ

- 表現運動系領域における三つの資質・能力の具体的な姿を明らかにすること
- 主体的・協働的に学ぶ姿を具体的に示し、それを引き出す学習過程の作成

以上の観点から、今年度は、表現運動系領域における三つの資質・能力の具体的な姿を明らかにしていくことを重点とし、研究を進めていくとともに、表現リズム遊び・表現運動の6年間の三つの資質・能力の系統性を示していく。

主体的・協働的に学ぶ姿を、本部会では、進んで友達と課題解決的な学習に取り組む姿と考えた。

キーワード「主体的」

「主体的」とは、児童が自分の能力に適した課題を見付け、運動に取り組むこと。また、課題の解決

のための活動を選ぶこと。そして、粘り強く意欲的に課題の解決に取り組むとともに、自らの活動を振り返りつつ、課題を修正したり、新たに課題を設定したりして、運動に取り組む姿と考えた。

キーワード「協働的」

「協働的」とは、友達と関わりながら踊ることや友達と動きを見合ったり、踊りのよかったところを認め合ったりしながら運動に取り組む姿と考えた。

研究主題をもとに、三つの資質・能力が育成できる学習活動を提案すること。そして、主体的・協働的に学ぶ姿を引き出す課題解決的な学習を研究していく。

5 研究の視点についての考え方

(1) 研究の視点1「三つの資質・能力の具体的な学習状況」についての考え方

- 「**知識や技能**」については、表現運動の特性を味わうために必要な技能とそれを身に付けるために必要な知識であると考えた。学習の初めの段階では、教師の提示する易しい運動から表現リズム遊び・表現運動における楽しさや喜びに触れ、知識を活用して、その行い方を知ったり、理解したりする。運動に取り組むことを通して、即興的な身体表現能力やリズムに乗って踊る能力、コミュニケーション能力などを培っていくようにしていく。
- 「**思考力、判断力、表現力等**」については、自己やグループの課題を見付け、課題の解決の仕方を選ぶこと。課題解決のために考えたことを友達に伝えることと考えた。そのために、伝える方法、場の設定、指導方法や評価方法などを検討していく。
- 「**学びに向かう力、人間性等**」については、「いつでも、どこでも、誰とでも」という、これまでの部会で大切にしている考えをもとに、進んで運動に取り組み、誰とでも仲良く踊ったり、友達のよさを認めたりする態度と考えた。そのために、仲間を認め合うような学級の雰囲気づくりはもちろん、授業の導入では、心と体をほぐすような活動を取り入れ、仲良く進んで運動に取り組む態度を養うようにする。

<運動領域・表現運動領域における三つの資質・能力の学習状況>

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
運動領域	<p>各種の運動が有する特性や魅力に応じた知識や技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種の運動の行い方に関する基礎的な知識 ・各種の運動を行うための基本的な技能 	<p>自己の能力に適した課題をもち、活動を選んだり、工夫したりする思考力・判断力・表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力に適した課題に気付く力 ・自己の課題を解決するための活動を選んだり、運動の行い方を工夫したりする力 ・思考し判断したことを、言葉や動作等で他者に伝える力 	<p>運動の楽しさや喜びを味わい、明るく楽しい生活を営むための態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで学習活動に取り組む ・約束を守り、公正に行動する ・友達と協力して活動する ・自分の役割を果たそうとする ・友達の考えや取組を認める ・安全に気を配る

表現運動系領域	<p><1・2年> 表現リズム遊びの楽しさに触れ、その行い方を知り、題材になりきったり、リズムに乗ったりして楽しく踊るための動きや各種の運動の基礎となる動きを身に付けることができる。</p> <p><3・4年> 自己の心身を解き放して、イメージやリズムの世界に没入してなりきって踊ることができる。(3・4年、5・6年) 表現の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知り、表したい感じを表現したり、リズムの特徴を捉えたりして踊るための動きを身に付けることができる。</p> <p><5・6年> 表現の楽しさや喜びに触れ。その行い方を理解し、表したい感じを表現したり踊りの特徴を捉えたりして踊るための動きを身に付けることができる。</p>	<p><1・2年> 簡単な踊り方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えている。</p> <p><3・4年> 自分の力に合った課題をもち、練習や交流の仕方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えている。</p> <p><5・6年> 自己やグループの課題の解決を目指して、練習や発表・交流の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p>	<p><1・2年> 表現リズム遊びに進んで取り組むとともに、だれとでも仲よく踊ろうとしたり、運動をする場の安全に気を付けようとしていたりしている。</p> <p><3・4年> 表現運動に進んで取り組むとともに、だれとでも仲よく運動をしようとしていたり、運動する場の安全を確かめようとしていたりしている。また、友達の動きや考えを認めようとしていたりしている。</p> <p><5・6年> 表現運動に積極的に取り組むとともに、互いのよさを認め合い助け合って練習や発表をしようとしていたり、運動する場の安全に気を配ろうとしていたりしている。また、互いの動きや考えのよさを認め合おうとしていたりしている。</p>
---------	--	---	--

<表現運動領域における具体的な各学年の三つの資質・能力の学習状況>

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
第一学年及び第二学年表現リズム遊び	領新学習指導要	(1) 次の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、題材になりきったりリズムに乗ったりして踊ること。リズム遊びでは、軽快なリズムに乗って踊ること。	(2) 身近な題材の特徴を捉えて踊ったり、軽快なリズムに乗って踊ったりする簡単な踊り方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。	(3) 運動遊びに進んで取り組み、誰とでも仲よく踊ったり、場の安全に気を付けたりすること。
	具体的な子供の姿	<ul style="list-style-type: none"> ・ロックやサンバなどの軽快なリズムに乗って弾んだり、回ったり、ねじったりしながら自由に踊る。 ・全身で弾んでリズムに乗る。 ・友達と手をつないで踊る。 ・リズムに合わせて即興的に踊る。 ・回る・ねじる・スキップするなどの動きを繰り返す。 ・手・足のそれぞれの動きを組み合わせたり、一つの動きを大きく変化(体の向きや高さなど)させたりして、多様な動きをしている。 ・おしりをふったり、回ったり、手を上下・左右・前後にふりながら踊っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・軽快なリズムの特徴を捉えた動きを見付けたり、選んだりしている。 ・友達のよい動きを見付けて、クラスや友達に紹介している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・軽快なリズムに乗って、友達の動きを真似し合って、友達と動きを続けて、友達と気に入った動きをつないで、など、いろいろな活動の仕方で踊って楽しむ。 ・誰とでも仲良く踊っている。 ・友達とぶつからないように気を付けている。 ・ペアの友達の動きを真似して踊る。 ・友達と並んだり向かい合ったり、ハイタッチしたりしながら踊る。 ・「ゾウさんダンス」など動物の動きを例えて踊る。 ・友達とリズムに合わせて一緒に笑顔で踊る。

第三学年及び第四学年 リズムダンス	新学習指導要領	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力・人間性等
	具体的な子供の姿	<p>(1) 次の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、表したい感じを表現したりリズムに乗ったりして踊ること。 リズムダンスでは、軽快なリズムに乗って全身で踊ること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロックの「ウンタ ウンタ」の後打ちの知り、おへそを中心に全身で弾んで踊っている。 ・おへそを上下に弾ませ、全身で跳ぶように体を弾ませながら踊っている。 ・サンバの「ウンタッタ」のリズムを知り、おへそを前後にスイングして踊っている。 ・タタータのアクセント(シンコペーション)を意識して、おへそを前後にゆらして踊っている。 ・ウンタの後側の強い音を感じて、おへそを下に落とす感じでアクセントをつけて踊っている。 ・リズムに合わせて即興的に自由に踊っている。 ・手を振ったり足を上げたりして踊っている。 ・1曲を通して即興的に踊っている。 ・友達と調子を合わせたり、対応したりして踊っている。 ・リズムに乗る動きをベースにして、リズムをくずして変化を付ける動きをバランスよく取り入れている。 ・「はじめ」と「おわり」にポーズを決めている。 ・手をひらひらさせたり腰を左右に揺らしたりして踊っている。 	<p>(2) 自己の能力に適した課題を見付け、題材やリズムの特徴を捉えた踊り方や交流の仕方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左右に弾んだりスキップで回ったり移動したりして踊っている。 ・ねじる、回る、素早く、ストップなどの変化をつけて踊っている。 ・スキップやツーステップ、サンバステップで踊っている。 ・手をウェイブやギラギラ太陽のようにして踊っている。 ・他のグループとお気に入りの動きを交換し合ったり教え合ったりしている。 ・友達のよい動きをクラスや友達に紹介している。 ・自分やグループの課題にあったリズム(曲)を選んで踊っている。 ・お気に入りの動きを残したり、新たな動きや変化の付け方を加えたりしている。 ・人気の高かった曲をメドレーにしてリズムダンス交流会を行っている。 ・ペアグループのよかったところやおもしろかったと感じたことを伝えている。 	<p>(3) 運動に進んで取り組み、誰とでも仲よく踊ったり、友達の動きや考えを認めたり、場の安全に気を付けたりすること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リズムダンスに進んで取り組んでいる。 ・友達と励まし合って踊っている。 ・誰とでも気持ち良く踊ったり交流したりしている。 ・友達とぶつからないように安全を確かめながら踊っている。 ・友達と手をつないだり列になったりして踊っている。 ・即興的な動きをまねし合いながら踊っている。 ・友達と自由に踊る楽しさに気付いている。 ・友達のよい動きを真似している。 ・2～4人組のリーダーを交代するなどして関わり合いながら踊っている。

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力	学びに向かう力、人間性等
第一学年及び第二学年表現リズム遊び	新学習指導要領	(1) 次の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、題材になりきったりリズムに乗ったりして踊ること。 表現遊びでは、身近な題材の特徴を捉え、全身で踊ること。	(2) 身近な題材の特徴を捉えて踊ったり、軽快なリズムに乗って踊ったりする簡単な踊り方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。	(3) 運動遊びに進んで取り組み、誰とでも仲よく踊ったり、場の安全に気を付けたりすること。
	具体的な児童の姿	○身近な題材例 動物園などの動物 遊園地の乗り物 ※児童にとって身近で関心が高く、特徴のある具体的な動きを多く含むもの。 ○題材の特徴を捉えるとは ・「○○が○○しているところ」(例 猿が木登りをしているところ) など、題材の特徴や様子を具体的な動きで捉えている。 ・全身で踊るとは 跳ぶ、回る、ねじる、這う、素早く走るなど全身の動きに高・低の差や速さの変化をつけて即興的に踊っている。 ○動きの中に「大変！池に落ちた」のような急変する場面を入れて簡単な話にして続けて踊っている。	○動物が何かをしている様子や乗り物が動いている様子から動きを(いろいろ)見付けたり、選んだりしている。 ○動きの速さや高低差に変化をつけたり、動いている場を広く使ったり、狭くつかったりして踊り方を工夫している。 ○友達のよい動きを見付けて、クラスや友達に紹介している。	○いろいろな動物や乗り物になりきって踊ることに進んで取り組み、表情豊かに楽しんで踊っている。 ○誰とでも仲良く踊っている。 ○友達とぶつからないように気を付けている。 ○友達の動きを真似して踊る。 ○友達と動きを合わせて一緒に笑顔で踊っている。

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
第五学年及び第六学年フォークダンス	新学習指導要領	(1) 次の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、表したい感じを表現したり踊りで交流したりすること。 フォークダンスでは、日本の民踊や外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて簡単なステップや動きで踊ること。	(2) 自己やグループの課題の解決に向けて、表したい内容や踊りの特徴を捉えた練習や発表・交流の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。	(3) 運動に積極的に取り組み、互いのよさを認め合い助け合って踊ったり、場の安全に気を配ったりすること。
	具体的な子供の姿	・それぞれの踊りを身に付けて、その特徴を出して踊っている。 ・基本的なステップや動きを身に付け、音楽に合わせて感じを込めて踊っている。 ・マイムマイムでは、水を見つけた喜びの気持ちを込めてかけ声を出している。 ・コロボチカでは、パートナーと目を合わせて軽快に楽しく踊っている。 ・グスタフス・スクールでは、前半の優雅な貴族、後半の楽しい農家のイメージの違いを出して踊っている。 ・阿波踊りでは、男踊りと女踊りの違いを出して踊っている。 ・ソーラン節では、力強さを出して踊っている。	・自分やグループの課題に応じた練習の仕方を選んでいる。 ・踊りの特徴の出し方を考えたり、交流の仕方を選んだり工夫したりしている。 ・交流会の仕方を考え、練習に取り組んでいる。 ・踊りを通して日本や世界の文化に触れ、伝統的な文化を尊重しようとしている。 ・踊りに必要な簡単な小道具や衣装を付けたり、踊りに伴う掛け声などを付けたりして踊りの雰囲気を高めている。 ・言葉でリズムをとりながら練習している。 ・友達のよい動きを見付けて、真似している。	・進んでフォークダンスに取り組んでいる。 ・互いのよさを認め合い、助け合って練習や交流をしている。 ・安全に気を配って練習に取り組んでいる。 ・苦手な踊りを教えてもらったり得意な踊りを教えたりしている。

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
第三学年及び第四学年 表現運動	新学習指導要領	(1) 次の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、表したい感じを表現したりリズムに乗ったりして踊ること。 表現では、身近な生活などの題材からその主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで踊ること。	(2) 自己の能力に適した課題を見つけ、題材やリズムの特徴を捉えた踊り方や交流の仕方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。	(3) 運動に進んで取り組み、誰とでも仲よく踊ったり、友達の動きや考えを認めたり、場の安全に気を付けたりすること。
	具体的な児童の姿	○身近な生活などの題材 「○○づくり」 →粘土細工、料理など 「1日の生活」 →洗濯物、掃除、スポーツなど 身近な生活の中からイメージがとらえやすく多様な感じの動きを含むもの。 「○○探検」 →ジャングル、宇宙、海底 未知の想像が広がる題材や忍者や戦いなどの2人組で対比する動きを含む題材 ○題材の特徴を捉えとは ・伸びる、丸められるなど材料が変化する特徴的な様子をとらえること。 ○大きく・小さく、速く・遅くなど、動きに差をつけて誇張したり、2人で対応する動きを繰り返したりする。 ○表したい感じをひと流れの動きで踊るとは ・表したい感じを中心に、感じの異なる動きや急変する場面などをつなげて「はじめとおわり」を付けた動きにして感じを込めて踊ること。	○題材のイメージから、多様な場面や特徴的な動きをいろいろ見付けている。 ○題材から表したい場面を選び「はじめとおわり」をつけて動きのストーリーを考えている。 ○表したい場面の特徴が表れるように工夫している。 工夫例 ・動く速さを変えたり、ストップを入れたりしている。 ・体の向きや視線を変えている。 ・1人や複数で踊っている。 ・空間や場を効果的に使っている。 ○友達のよかった動きやおもしろかったと感じたことを友達に紹介している。	○表現運動に進んで取り組んでいる。 ○友達と励まし合って踊っている。 ○誰とでも気持ち良く踊ったり交流したりしている。 ○友達とぶつからないように安全を確かめながら踊っている。 ○即興的な動きをまねし合いながら踊っている。 ○友達と一緒に踊る楽しさに気付いている。 ○友達のよい動きを真似している。 ・友達とひと流れの動きをつくり合って、関わり合いながら踊っている。

表現運動	第五学年及び第六学年	新学習指導要領		
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
		(1) 次の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、表したい感じを表現したり踊りで交流したりすること。表現では、いろいろな題材からそれらの主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで即興的に踊ったり、簡単なひとまとまりの動きにして踊ったりすること。	(2) 自己やグループの課題の解決に向けて、表したい内容や踊りの特徴を捉えた練習や発表・交流の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。	(3) 運動に積極的に取り組み、互いのよさを認め合い助け合って踊ったり、場の安全に気を配ったりすること。
	具体的な児童の姿	<ul style="list-style-type: none"> ○題材例 <ul style="list-style-type: none"> ・「激しい感じの題材」 →満員電車、火山の爆発、嵐の中の難破船など ・「急に〇〇する」 →コンピューターが壊れた、稲妻が走る、怒りの爆発など ・「群（集団）が生きる題材」 →祭り、スポーツの攻防、街の風景など ○主な特徴とは <ul style="list-style-type: none"> ・「激しい感じの題材」 →不安定で不規則、変化と起伏 ・「急に〇〇する」 →急な変化 ・「群（集団）が生きる題材」 →規則性 ○素早く走る、急に止まる、回る、ねじる、跳ぶ、転がるなどの動きを組み合わせたり、繰り返したりして表したい感じをひと流れの動きで即興的に踊っている。 ○表したいイメージを「はじめ-なか-おわり」をつけた簡単なひとまとまりの動きにして友達と感じを込めて通して踊っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題の解決の仕方を知るとともに、自分やグループの課題に応じた動きを選んだり、構成を変えたりしている。 ○題材のイメージから特徴的な動きを見付け自分の動きに取り入れている。 ○自分やグループのよさを知るとともに、練習や発表会で自分やグループのよさを生かす動きを見付けている。 ○一番表したい場面が強調されるように工夫の仕方を考えたり、他のグループとよい工夫の仕方を伝え合ったりしている。 <p>工夫例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印象的な動きを繰り返している。 ・表したい様子が際立つように、緩急をつけている。 ・ラストを印象的にしている。 ・表したいイメージが伝わるようにタイトルを考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○進んで表現運動に取り組んでいる。 ○互いのよさを認め合い、助け合って練習や発表をしようとしている。 ○練習や発表する場の安全に気を配ろうとしている。

(2) 研究の視点2 「三つの資質・能力の関係性を踏まえた学習過程の在り方」についての考え方

三つの資質・能力がバランスよく身に付くよう、リズムダンスにおける課題解決的な学習を見直す。そのために、単元の導入では、まず「学びに向かう力、人間性等」を身に付けさせることを重点とし、心と体をほぐすような活動を取り入れ、進んで運動に取り組めるようにする。易しい運動から表現運動における楽しさや喜び触れ、その行い方を知るとともに、全身でリズムに乗って踊る学習に取り組ませる。楽しく運動を行うために、課題を見付け、その解決のための活動を工夫するとともに、誰とでも仲よく踊ったり、友達の動きや考えを認めたりするような活動を展開していく。

(3) 研究の視点3 「三つの資質・能力を育むための指導と評価」についての考え方

現行学習指導要領における評価の観点をもとに、評価に盛り込むべき内容と、評価規準を再検討する。学習活動に即した評価規準をより多くの教員が活用できるものを作成する。そこで、多様な評価場面や評価方法について検討し、児童の学習状況を適切に評価し、指導の改善につながるができるようにしていく。

6 研究主題に迫るための学習を促す手だてについて

(1) 「知識及び技能」を身に付けるための手だて

「知識及び技能」	<p>各種の運動が有する特性や魅力に応じた 知識や技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種の運動の行い方に関する基礎的な知識 ・ 各種の運動を行うための基本的な技能
第3学年及び第4学年	<p>次の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、表したい感じを表現したりリズムに乗ったりして踊ること。</p> <p>リズムダンスでは、軽快なリズムに乗って全身で踊ること。</p>

○教師が易しい動きや運動の行い方を提示する

- ・ リズムの特徴をつかませるための手だて

(例) ロックのリズム → 「ンタ ンタ (1拍)」のリズムの乗るために、座っておへそを意識して上下に揺らす。

サンバのリズム → おへそを意識して前後左右に動かす。手で左右のウェーブを付けさせる。

- ・ 即興的に踊るための手だて

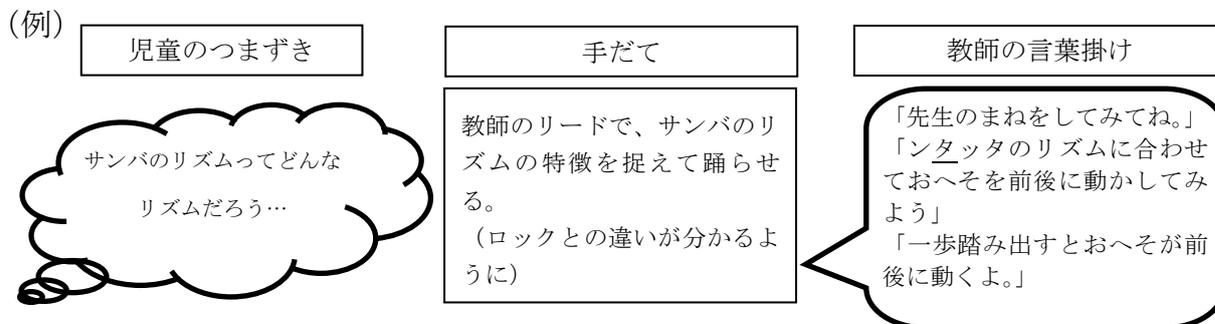
まず初めに教師の動きをまねしてやってみる時間を設定する。

(例) ロックのリズム⇒リズムに乗りながら、体をねじったり回したり、跳んだりする。

サンバのリズム⇒リズムに乗りながら、手をウェーブしたり手を太陽のキラキラのように動かしたりする。

○リズムに乗って踊ることが苦手な児童等に配慮するための例を示す。

→ 「想定される児童のつまずきに対しての手だて、教師の言葉掛け」の毎時間の計画の作成 (資料7参照)



○四つの変化を学ばせる。

習得の時間に動き・空間・リズム・かかわりを変化させることを学ばせる。リズムの乗り方や動きに変化が生まれ、子供たちは途切れずに、全身でリズムに乗って弾んで踊ることができる。

動きの変化	空間の変化
<p>ねじったり、回ったり、体の状態をいろいろ変えてみる。 (極限の動きが非日常の動きになる)</p>	<p>方向や場の使い方の変化。心身の解放は、まず「空間の変化」から。</p>
リズムの変化	かかわりの変化
<p>素早く、ゆっくり、ストップ、巻き戻し等。(リズムの速さの変化がメリハリのある動きへ)</p>	<p>手をつないだり、はなれたり、くっついたり、くぐり抜けたり、一人ではできない動きに挑戦。</p>

(2) 「思考力・判断力・表現力等」を育む手だて

「思考力・判断力・表現力等」	自己の能力に適した課題をもち、活動を選んだり、工夫したりする思考力・判断力・表現力等 ・自己の能力に適した課題に気付く力 ・自己の課題を解決するための活動を選んだり、運動の行い方を工夫したりする力 ・思考し判断したことを、言葉や動作等で他者に伝える力
第3学年及び第4学年	自己の能力に適した課題を見付け、題材やリズムの特徴を捉えた踊り方や交流の仕方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。

○「習得」→「活用」という流れを基本とし、二つの段階で構成する単元計画に基づいた授業を構成する。

習得→リズムに乗ることや全身で踊ること、リズムを変化させることを習得させる。

活用→習得の時間に身に付けたリズムの乗り方や踊り方で、2～3人で即興的に踊る。

ダンス交流会などで動きの工夫の仕方を広げたり、深めたりする。

例) 第3学年

	第1時	第2時	第3時	第4時	第5時	第6時
	軽快なロック	軽快なロック	サンバ	サンバ	ロックとサンバ	交流会
	習得 ・ロックのリズムに乗ること ・おへそを中心に上下に弾むこと 活用 ・1人で即興的に踊る ・2人組で即興的に踊る	習得 ・ロックのリズムに乗りながら全身で踊ること ・動きに変化をつけて踊ること 活用 ・ペアを変えて誰とでも即興的に踊る	習得 ・サンバのリズムに乗ること ・おへそを中心に前後に動かすこと 活用 ・1人で即興的に踊る ・2人組で即興的に踊る	習得 ・サンバのリズムに乗りながら全身で踊ること ・動きに変化をつけて踊ること 活用 ・色々な曲で即興的に踊る ・ペアを変えて誰とでも即興的に踊る	習得 ・ロックやサンバのリズムの特徴の違いを捉えて踊ること ・4つの変化を付けて踊ること 活用 ・お気に入りの動きに4つの変化を組み合わせて30秒程度の踊りにまとめる	活用 ・30秒程度の踊りを踊る ・友達の踊りをまねして、自分の踊りに取り入れる

○課題を見付ける、解決のための活動を選ぶ、課題解決のために考えたことを伝える時間を実態に即して設定する。

- ・課題を見付けるための手だて

例) リズムを表す言葉を言いながら踊らせる。→リズムに乗ることができているかが分かる。

- ・解決のための活動を選ぶ手だて

例) 途切れずに踊らせる。→掲示してある四つの変化から一つ選んで取り入れさせる。

- ・伝える工夫

例) 伝える場の設定 → お互いの踊りを見てよさを伝え合う場面を設定する。

見合いの方法 → 先にどこを見てほしいかを伝える。「リズムの変化があるかを見てください。」→「早くなったり、遅くなったりしてリズムが変化していたよ。」

まねさせる → お互いの動きをまねして踊ることでよさに気付かせる。

○児童がめあてをもつための毎時間の手だての設定

→学習カードの工夫（めあてを考えさせる、選ばせるなど）

第1時	第2時	第3時	第4時	第5時	第6時
めあてを固定	めあてを選ぶ	めあてを固定	めあてを選ぶ	キーワードを入れ、固定に合っためあてをたてる	キーワードを入れ、固定に合っためあてをたてる

(3)「学びに向かう力・人間性等」を養う手だて

「学びに向かう力、人間性等」	運動の楽しさや喜びを味わい、明るく 楽しい生活を営むための態度 <ul style="list-style-type: none"> ・進んで学習活動に取り組む ・約束を守り、公正に行動する ・友達と協力して活動する ・自分の役割を果たそうとする ・友達の考えや取組を認める ・安全に気を配る
第5学年及び第6学年	運動に進んで取り組み、誰とでも仲よく踊ったり、友達の動きや考えを認めたり、場の安全に気を付けたりすること。

○授業の導入時で行う心と体をほぐす運動(円形コミュニケーションやリズム遊び等)を導入する。

- ・踊ることに意欲的ではない児童には、授業の導入で、みんなで円形などになり、顔を見合わせながら軽快なリズムに乗って弾んだり手拍子をしたりして、心と体をほぐすなどの配慮をする。

【新学習指導要領解説 p.107】

- ・やさしい運動として「よろしくねダンス」を取り入れる。

○心と体をほぐす運動例集の作成

- ・準備運動（けが防止）。
- ・楽しい気持ちになることで、恥ずかしさを忘れて踊ることができるようにする。
- ・自由に踊る雰囲気を作り、お互いのよい動きを認めることができるようにする。

7 年間指導計画					
	学年	1年生		2年生	
	時間数	1～5	6	7～11	12
	学習内容	リズム遊び②	表現①	リズム遊び②	表現②
		表現遊び③	・発表会	表現遊び③	・発表会
第1学年 どうぶつランドにいこう！					
時	1	2	3	4	5
テーマ	動物		昆虫		海の生き物
学習活動	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> リズム遊び 軽快なリズムの曲に乗って自由に踊る。 </div>				
	表現遊び				
	動物の特徴的な動きを、教師と一緒にやってみる。	好きな動物を選び、簡単なお話で続けて踊る。	昆虫の特徴的な動きを、教師と一緒にやってみる。	好きな昆虫を選び、簡単なお話で続けて踊る。	海の生き物の特徴的な動きを、教師と一緒にやってみる。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> これまで踊った中で気に入った特徴的な動きを選び、急変する場面を入れながら、簡単なお話で続けて踊る。 友達のよい動きを見つけて、みんなで一緒に踊る。 </div>				
第2学年 ゆうえんちにいこう！					
時	1	2	3	4	5
テーマ	ゆうえんちの乗り物		おばけやしき		パレード
学習活動	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> リズム遊び 軽快なリズムの曲に乗って自由に踊る。 </div>				
	表現遊び				
	乗り物の特徴的な動きを、教師と一緒にやってみる。	気に入った乗り物を選び、簡単なお話で続けて踊る。	おばけの特徴的な動きを、教師と一緒にやってみる。	好きなおばけを選び、簡単なお話で続けて踊る。	気に入ったパレードの動きを選び、簡単なお話で続けて踊る。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> これまで踊った中で気に入った特徴的な動きを選び、急変する場面を入れながら、簡単なお話で続けて踊る。 友達のよい動きを見つけて、みんなで一緒に踊る。 </div>				

	学年	3年生		4年生			
	時間数	1～6	7～12	13～18	19～24		
	学習内容	リズムダンス⑥	表現⑥ 空想の世界からの題材	リズムダンス⑥	表現⑥ 具体的な生活からの題材		
第3学年 ロックとサンバのリズムで即興的に踊って楽しむ学習							
時	1	2	3	4	5	6	
	軽快なロック	軽快なロック	サンバ	サンバ	ロック、サンバ 教師と子供で選んだ曲	ダンス交流会	
学習活動	教師のリードでリズムの特徴をつかんで踊る。		教師のリードでリズムの特徴をつかんで踊る。		ロックやサンバのリズムを全員で即興的に続けて踊る。 これまで学習したリズムから、踊りたい曲を選び、友達と一緒に踊る。	これまで学習したリズムから、踊りたい曲を選んで踊る。 友達のよい動きを取り入れて踊る。	
	2人組で即興的に続けて踊る。		2人組で即興的に続けて踊る。				
第3学年 空想の世界からの題材で踊る学習							
時	1	2	3	4	5	6	
	即興的に表現して楽しむ				工夫して楽しむ		
小テーマ	イメージ作り	ジャングル探検	宇宙探検	海底探検			
学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ロックのリズムに乗って心と体をほぐす。 ・いろいろな即興表現を楽しむ。 ・題材のイメージや動きを出し合う。 ・いくつか選んで即興的に踊ってみる。 	題材の特徴的な場面や動きをいくつかみんなで見学してみる。		表したい題材と場面別にグループを作る。		グループの課題を確認する。	
		イメージカルタを使って、2～4人組で即興的に踊る。		気に入った場面を選び「はじめとおわり」をつけて踊る。		2グループずつに分かれ、交代で動きを見せ合う。	
		一番気に入ったカルタを選び、ペアでひと流れの動きを踊り合う。				ミニ発表会をする。	

第4学年 好きなリズム(曲)を選んで踊って交流する学習						
時	1	2	3	4	5	6
	軽快なロック、 ビートの強いロック、サンバ		固定したグループが、今まで学習に使った曲や児童がもち寄った曲の中から1曲選ぶ。		ダンス交流会	
学習活動	教師のリードでリズムの特徴をつかんで踊る。		4～6人組で即興的に続けて踊る 30秒程度の即興ダンスにまとめる		人気の高かった4曲をモデルにしてみんなで踊る。 今までの踊りを組み合わせたり前時までで他のグループと交流して学んだことを取り入れたりする。	人気の高かった4曲をモデルにして、みんなで踊る。 前時にみんなで踊ったことを生かして、よい動きを取り入れて踊る。
	2～4人組で即興的に続けて踊る。		他の4～6人組と一緒に、各グループが作った即興ダンスを踊る。 ダンス交流会で踊る1曲を選ぶ。			
第4学年 具体的な生活からの題材で踊る学習						
時	1	2	3	4	5	6
	リズムに乗って楽しむ		即興的に表現して楽しむ		工夫して楽しむ	
小テーマ	おかし・パン・めんづくり	魚や貝でつくろう	おなべでつくろう	はりきりクッキング		
学習活動	実物や教師の提示したテーマで即興的に表現して、楽しむ。		2人で対応する動きを繰り返して、即興的に踊る。		差のある動きを入れて誇張して、即興的に踊る。	
			イメージカルタを使って、即興的に表現する。		思い浮かんだイメージを広げる。	イメージをもとに、ミニ作品を作る。
友達と動きを見合い、よい動きを取り上げる。 よい動きを共有しながら、即興的に踊る。						

	学年	5年生		6年生	
	時間数	1～6	7～12	13～18	19～24
	学習内容	フォークダンス⑥	表現⑥	フォークダンス⑥	表現⑥
			激しい攻防・追いつ追われつ表現		激しい感じの題材

第5学年「簡単なフォークダンスを踊って交流しよう」

時	1	2	3	4	5	6
踊り	次の外国のフォークダンスから複数のダンスを選んでみんなで楽しく踊る。 ①マイム・マイム(イスラエル)・・・みんなで手をつなぎ、かけ声をかけて力強くステップを踏みながら移動して踊る。 ②コロボチカ(ロシア)・・・パートナーと組んでスリーステップターンなどの軽快なステップの動きを合わせたり、パートナーチェンジをスムーズに行ったりしながら踊る。 ③グスタフス・スコール・・・前半の厳かな挨拶の部分と後半の軽快なスキップやアーチぐりなどの変化を付けて、パートナーや全体でスムーズに隊形移動しながら踊る。					フォークダンス交流会 学習した踊りを思い出しながらメドレーで踊って交流する。
学習活動	例「マイム・マイム」教師のリードで踊りの振りを身に付けて踊る。 踊りの特徴(かけ声をかけて喜びを表す)を捉えてみんなで踊る。	例「コロボチカ」教師のリードで踊りの振りを身に付けて踊る。 踊りの特徴(パートナーと息を合わせて軽快に)をとらえてみんなで踊る。				学習した踊りの特徴を意識しながらみんなで踊って交流する。

第5学年「対決！」(激しい攻防・追いつ追われつ表現)

時	1	2	3	4	5	6
踊り	「対決！」のいろいろなイメージを、ひと流れの動きで即興的に踊る。					好きなイメージを選び、グループでひとまとまりの動きにして踊る。
小テーマ	イメージ作り	2人の戦い	追いつ追われつ	危機一髪！〇〇		
学習活動	リズムダンスで、心と体をほぐす。					
	○「対決」からイメージすることを出し合う。 ○出し合ったイメージからいくつか選んで即興的に踊ってみる。	教師のリードで、小テーマから特徴的な場面や動きをいくつかやってみる。				今まで踊った小テーマから一番表したいものを選び、グループを作って、イメージが強調されるように、「はじめなかーおわり」のひとまとまりの動きにして踊る。 見せ合って、アドバイスを受けてさらに動きを工夫する。
		小テーマから好きなイメージを選び、習得の時間の動きを生かしてひと流れの動きにして踊る。				

第6学年 「簡単なフォークダンスを踊って交流しよう」						
時	1	2	3	4	5	6
踊り	日本の代表的な民踊や郷土の踊りからみんなで楽しく踊る。 ①阿波踊り…軽快な足さばきや手振りで踊る。 ②ソーラン節…低く踏みしめるような足取りや腰の動きで踊る。					フォークダンス交流会 学習した踊りを思い出しながらメドレーで踊って交流する。
学習活動	「阿波踊り」を教師のリードで踊りの振りを身に付けて踊る。 踊りの特徴(男踊りと女踊りの違い)を捉えてみんなで踊る。		「ソーラン節」を教師のリードで踊りの振りを身に付けて踊る。 踊りの特徴(網を力強く引っ張る動き)をとらえてみんなで踊る。			学習した踊りの特徴を意識しながらみんなで踊って交流する。
第6学年 表現「大変だ！〇〇」(激しい感じの表現)						
時	1	2	3	4	5	6
踊り	「大変だ！〇〇！」のいろいろなイメージを、ひと流れの動きで即興的に踊る。				好きなイメージを選び、グループでひとまとまりの動きにして踊る。	
小テーマ	イメージ作り	身近な生活編	自然・社会編	群が生きる内容編		
学習活動	リズムダンスで、心と体をほぐす。					
	○運動課題「走るー跳ぶ」からイメージすることを出し合う。 ○出し合ったイメージからいくつか選んで即興的に踊ってみる。	教師のリードで、急変する場面を入れながら激しい感じの動きをいくつかやってみる。 小テーマから好きなイメージを選び、習得の時間の動きを生かしてひと流れの動きにして踊る。			今まで踊った小テーマから一番表現したいものを選び、グループを作って、イメージが強調されるように、「はじめーなかーおわり」のひとまとまりの動きにして踊る。 見せ合って、アドバイスを受けてさらに動きを工夫する。	

8 運動が苦手な児童への手だて

運動が苦手な児童への手だて 第1時（学びのプロセス・三つの資質能力との関連）

個や集団の学びのプロセス	易しい運動に取り組む	自己の思いや願い、体力に応じて、目標をもつ	決めた運動に取り組む	成果を確認し、振り返る	目標に向けた運動課題とその解決方法を知る
	習得		活用		
具体的な活動例	ロックのリズムの特徴をとらえて踊る	何の変化を意識するか、目標をもつ	リズムダンスの特徴を捉えた動きで、はじめは一人、その後は二人組で即興的に続けて踊る。	学習の振り返りをする	次の目標を決める
三つの資質能力との関連	知識及び技能		知識及び技能	学びに向かう力、人間性等	思考力、判断力、表現力等
学習指導要領	軽快なリズムに乗って全身で踊ったりする運動に進んで取り組むこと	自己の能力に適した課題を見つけ、その課題の解決のための課題を選ぶこと	リズムに乗って弾んで踊ったり、友達と関わり合ったりして即興的に踊ること	リズムダンスでの友達の動きや楽しく踊るための考えを認めること	課題解決のために考えたことを友達に伝えること
児童のつまずき	ロックのリズムってどんなリズムだろう？ 	どうやったらロックの動きを変えられるのだろう 	どこを意識したらうまく踊れるのだろう 	自分の踊りのどんなところがよかったか、わからないな。 	次はどんな動きを入れればいいのか分らないな。 
手立て	教師のリードで、ロックのリズム（ウンタ ウンタ）の特徴を捉えて踊る。	空間・体・リズム・人間関係等の変化を意識させるようにする。	動きを例えて表現しながら踊る。	上手な子を紹介して、できていた部分を全体で共有する。良い動きの手本になるものを掲示する。	動きの例をいくつか掲示する。友達のよい動きを取り入れる。
教師の言葉がけ	「リズムに合わせて手拍子してみよう」 「先生のまねをしてみよう」 「おへそを上下に動かしてみよう」	「ひとのいないところにスキップしてみよう」 「体をねじったり、回したりしてみよう。」 「友達とくっついたり、はなれたりしてみよう」	「スキップするようにリズムに合わせて動いてみよう」 「おさるのように手を上下に上げ下げしてみよう」	「おへそを上下に動かしていたのいいですね。」 「全身ではずんでいるように踊っていたね。」	「リズムが今度は少し速くなるよ。〇〇さんの動きをみんなで作ってみようね。」 「おへそを中心に、リズムに乗ることができるかな。」
めざす児童の姿	手拍子したらリズムがわかってきたぞ。 	体をねじってリズムにすることができた。 	自分でリズムをとりながら動けたら、少しできたような気がするぞ。 	はずむように踊るといんだな。次はひざを曲げて大きくリズムを 	〇〇さんの踊りは、ウンタウンタにのっていた楽しそうだな。次に真似をしたいな 

運動が苦手な児童への手だて 第2時（学びのプロセス・三つの資質能力との関連）

個や集団の学びのプロセス	易しい運動に取り組む	自己の思いや願い、体力に応じて、目標をもつ	決めた運動に取り組む		成果を確認し、振り返る	次の課題に向けて取り組む
	習得		活用			
具体的な活動例	ロックのリズムの特徴をとらえて踊る。	何の変化を意識するか、目標をもつ。	リズムダンスの特徴を捉えた動きで、はじめは一人、その後は二人組で即興的に続けて踊る。	二人組を替えてペアになり、即興的に続けて踊る。	学習の振り返りをする。	次の目標を決める。
三つの資質能力との関連	知識及び技能		知識及び技能	知識及び技能	学びに向かう力、人間性等	学びに向かう力、人間性等
学習指導要領	リズムに乗って弾んで踊ったり、友達と関わり合ったりして即興的に踊ること	自己の能力に適した課題を見付け、その活動の解決のための活動を選ぶこと	リズムに乗って弾んで踊ったり、友達と関わり合ったりして即興的に踊ること	リズムに乗って弾んで踊ったり、友達と関わり合ったりして即興的に踊ること	リズムダンスでの友達の動きや楽しく踊るための考えを認めること	リズムダンスでの友達の動きや楽しく踊るための考えを認めること
児童のつまずき	ロックのリズムにど 	動きをどうかえればいいのかの 	どこを意識したらうまく踊れるかな。 	動きのパターンが一緒に 	友達の踊りのどんなところ 	次はどんな動きを入れれば 
手立て	教師のリードで、ロックのリズムの特徴を捉えて踊る。	空間・体・リズム・人間関係等の変化を意識させるようにする。	意識をする箇所を伝える。動きをたとえる。	性格・性別・運動経験などタイプの違う人同士でペアを組むよう声をかける。	上手な子を紹介して、できていた部分を全体で共有する。良い動きの手本になるものを掲示する。	サンバの曲を聞かせる。サンバのリズムを手拍子する。
教師の言葉がけ	「先生のまねをしてみようね。」 「おへそを上下に動かしてみよう。」	「ひとのいないところにスキップしてみよう。」 「とびはねてみよう。」 「友達とくっついてたり、はなれたりしてみよう。」	「ウンタのタのときに深くひざを曲げてみよう。」 「ウンタのタのときに、ひざとひじをくっつけてみよう。」 「二人で同じようにリズムをとれているかな。」	「今まで、組んだことのない人とペアになってみよう。」 「新しい動きをまねしてみよう。」 「手を振ってみたり、跳んだりしているペアがありますね。」	「〇〇さんの大きく動いていた踊りはあるかな。」 「へそはどんなふうに動いていたかな。」	「ロックとサンバのリズムの違いがわかるかな」 「リズムを手拍子してみよう。」
めざす児童の姿	ウンタ ウンタのリズムでへそを動か 	体育館を移動しながら踊ることができたよ。 	肘をまげてひざに付けるのは、おもしろいな 	〇〇さんのまねをたくさんしたら、 	しっかりへそは動いたけど。足が止まっていた 	サンバのリズムがなんとなくわかったぞ。サンバが楽しかったな 



運動が苦手な児童への手だて 第3時（学びのプロセス・三つの資質能力との関連）

個や集団の学びのプロセス	易しい運動に取り組む	自己の思いや願い、体力に応じて、目標をもつ	決めた運動に取り組む	成果を確認し、振り返る	目標に向けた運動課題とその解決方法を知る	
	習得			活用		
具体的な活動例	サンバのリズムの特徴をとらえて踊る	何の変化を意識するか、目標をもつ	サンバの特徴を捉えた動きで、はじめは一人、その後は二人組で即興的に続けて踊る。	二人組を替えてペアになり、即興的に続けて踊る。	学習の振り返りをする	次の目標を決める
三つの資質能力との関連	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
学習指導要領	サンバのリズムに乗って全身で踊ったりする運動に進んで取り組むこと	自己の能力に適した課題を見付け、その活動の解決のための活動を選ぶこと	リズムに乗って弾んで踊ったり、友達と関わり合ったりして即興的に踊ること	リズムに乗って弾んで踊ったり、友達と関わり合ったりして即興的に踊ること	課題解決のために考えたことを友達に伝えること	自己の能力に適した課題を見付け、その活動の解決のための活動を選ぶこと
児童のつまずき	サンバのリズムってどんなリズムだろう。 	よい動きを取り入れていくにはどうしたらいいのか 	どこを意識したらうまく踊れるのだろう。 	動きのパターンが一緒にきちゃった。 	自分の踊りのどんなところがよかったか、わからない 	次はどんな動きを入れればいいのか分からない。 
手立て	教師のリードで、サンバのリズムの特徴を捉えてへそを前後に踊る。(ロックとの違いが分かるように)	空間・体の向き(ねじる・回る)・手のふり・友達の真似など意識させるようにする。	動きを例えて表現しながら踊る。	性格・性別・運動経験などタイプの違う人同士でペアを組むよう声をかける。	上手な子を紹介して、できている部分を全体で共有する。良い動きの見本になるものを掲示する。	動きの例をいくつか掲示する。友達のよい動きを取り入れる。
教師の言葉がけ	「先生のまねをしてみよう。」 「ウンタッタのリズムに合わせておへそを前後に動かしてみよう。」	「ひとのいないところにスキップしてみよう。」 「体をねじったり、回したりしてみよう。」 「友達とくっついたり、はなれたりしてみよう。」	「手をスイングして波のようにしてみよう。」 「手をぎらぎら太陽のように。」 「二人で同じ動きをしてみよう。」	「今まで、組んだことのない人とペアになってみよう。」 「新しい動きをまねしてみよう。」 「手を振ってみたり、跳んだりしているペアがありますね。」	「サンバのリズムってどんなリズムだったかな。」 「おへそが前後に動いていたのは〇〇さんだったね。」	「〇〇さんは、サンバを踊りながら声も出していたね。」
めざす児童の姿	手拍子をするとうわかったね。 	友達の動きを真似したら、リ 	手のガラガラは、踊っていて楽しいな。 	〇〇さんの反対の動きをしたら、リズムに乗れた！新しい動 	おへそは前後に乗れていたな。今度は、手をもっと動かして、リズ 	〇〇さんの、あの踊りをやってみたい 

運動が苦手な児童への手だて 第4時（学びのプロセス・三つの資質能力との関連）

個や集団の学びのプロセス	易しい運動に取り組む	決めた運動に取り組む		成果を確認し、振り返る	次の課題に向けて取り組む
	習得	活用			
具体的な活動例	サンバのリズムの特徴をとらえて踊る	サンバの特徴を捉えた動きで、はじめは一人、その後は二人組で即興的に続けて踊る。	二人組を替えてペアになり、即興的に続けて踊る。	学習の振り返りをする	次の目標を決める
三つの資質能力との関連	学びに向かう力、人間性等	知識及び技能	知識及び技能	学びに向かう力、人間性等	思考力、判断力、表現力等
学習指導要領	リズムに乗って弾んで踊ったり、友達と関わり合ったりして即興的に踊ること	リズムに乗って弾んで踊ったり、友達と関わり合ったりして即興的に踊ること	リズムに乗って弾んで踊ったり、友達と関わり合ったりして即興的に踊ること	リズムダンスでの友達の動きや楽しく踊るための考えを認めること	自己の能力に適した課題を見付け、その活動の解決のための活動を選ぶこと
児童のつまずき	サンバのリズムってどんなリズムだったか。 	どこを意識したらうまく踊れるのだろう。 	動きのパターンが一緒にになってきちゃった。 	友達の踊りのどんなところがよかったか、わからない 	ロックとサンバの違いがよくわからないな。 
手立て	教師のリードで、サンバのリズムの特徴を捉えて踊る。 (ロックとの違いが分かるように)	動きを例えて表現しながら踊る。	合図を出してペアを変えるリズムをくずして踊る	上手な子を紹介して、できていた部分を全体で共有する。良い動きの見本になるものを掲示する。	リズムを手拍子する。
教師の言葉がけ	「先生のまねをしてみようね。」 「ウンタッタのリズムに合わせておへそを前後に動かしてみよう。」	「手をスイングして波のようにしてみよう。」 「手をぎらぎら太陽のように。」 「二人で反対の動きをしてみよう。」	「リズムを倍速にして踊ってみよう。」 「ゆっくり踊ってごらん。」 「手を振ってみたり、跳んだりしているペアがありますね。」	「サンバのどの踊りがうまくリズムに乗れたかな。」 「〇〇さんのおへその動きをみてみよう。」	「ロックとサンバのリズムを手拍子しながら声に出してみよう」
めざす児童の姿	ウンタッタでへそを前後に動かせば 	二人で手をギラギラしてみるのも楽しい 	リズムをくずしてみるとおもしろいなあ。 	〇〇さんのあの動きのよさがわかったぞ。 	ロックとサンバの違いがわかったぞ。 

運動が苦手な児童への手だて 第5時（学びのプロセス・三つの資質能力との関連）

個や集団の学びのプロセス	易しい運動に取り組む	決めた運動に取り組む		成果を確認し、振り返る	目標に向けた運動課題とその解決方法を知る
	習得	活用			
具体的な活動例	ロックやサンバのリズムの特徴をとらえて全身で弾んで踊る	リズムの特徴を捉えた動きで、二人組で4つの変化を取り入れて踊る。	二人組を替えてペアになり、即興的に続けて踊る。	学習の振り返りをする	次の目標を決める
三つの資質能力との関連	知識及び技能	知識及び技能	知識及び技能	学びに向かう力、人間性等	思考力、判断力、表現力等
学習指導要領	リズムに乗って弾んで踊ったり、友達と関わり合ったりして即興的に踊ること	リズムに乗って弾んで踊ったり、友達と関わり合ったりして即興的に踊ること	リズムに乗って弾んで踊ったり、友達と関わり合ったりして即興的に踊ること	リズムダンスでの友達の動きや楽しく踊るための考えを認めること	自己の能力に適した課題を見つけ、その活動の解決のための活動を選ぶこと
児童のつまずき	2つのリズムの違いがわからないな。 	動きが小さくならないようにしないと。 	動きのパターンが一緒になってきちゃった。 	4つの変化を取り入れるのが難しかったな。 	交流会でどのように踊っていったらいいかな。 
手立て	教師のリードで、ロックやサンバリズムの特徴を捉えて踊る。（違いが分かるように）	ロックは、おへそを弾ませる。サンバはおへそを前後にスイングさせる。	合図を出してペアを変える。リズムをくずして踊るなど、4つの変化を意識させるようにする。	上手な子を紹介して、できていた部分を全体で共有する。良い動きの見本になるものを掲示する。	交流会の仕方を知らせる。動きの例をいくつか紹介する。
教師の言葉がけ	「先生のまねをしてみようね。」 「ウンタ、がロック。ウンタツタがサンバのリズムだったね。おへそを動かして踊ってみよう。」	「上下に飛び跳ねてみよう。」 「おへそを前後に、手も大きく上げ下げしてみよう。」 「二人で同じ動きをしてみよう。」	「スローモーションや倍速で動いてみよう。」 「ポーズからリズムに乗ってみよう。」 「2人で反対の動きをしてみよう。」	「〇〇さんは、リズムの中にストップを入れていたよ。」 「〇〇さんは、友達と反対の動きを入れていたね。」 「体をねじったり、くねくねさせたりしておどれたかな。」	「グループでまねしたい動きや、取り入れたい変化はありますか。」
めざす児童の姿	ちがいがわかってリズムに乗れたぞ。 	大きく飛び跳ねてもリズムに乗れて楽しい 	2人で倍速の動きが楽しかった。リズムのくずしかたがわ 	あの踊りが、リズムをくずすことなんだ。〇〇さんの動きをや 	みんなであのグループがやっ 

個や集団の学びのプロセス	自己の能力やチームの特徴に応じて課題を選び、課題解決のための活動を決める	決めた運動に取り組む	成果を確認し、振り返る
活用			
具体的な活動例	前時でまとめた踊りを振り返る。	リズムダンス交流会をする。	学習の振り返りをする
三つの資質能力との関連	思考力, 判断力, 表現力等	知識及び技能	学びに向かう力, 人間性等
学習指導要領	自己の能力に適した課題を見付け、その活動の解決のための活動を選ぶこと	リズムに乗って弾んで踊ったり、友達と関わり合ったりして即興的に踊ること	リズムダンスでの友達の動きや楽しく踊るための考えを認めること
児童のつまずき	もっと動きをふやして楽しくおどりたいな。 	ロックやサンバの動きをどうやって変化させていこうかな。 	〇〇さんの動きはよかった 
手立て	4つの変化を掲示資料や映像を使って確認する。	よく動いているグループ例に出して、全体でまねをする。	上手なグループを紹介して、できていた部分を全体で共有する。 4つの変化を取り入れて踊っていたかを全体で共有する。
教師の言葉がけ	「動きながら、いいなと思ったものはすぐにまねしてみよう。」 「ギラギラとスイングを組み合わせてみよう。」	「〇〇さんと反対の動きで合わせてみよう。」 「もっと大きめに動くと楽しいよ。」 「〇〇さんの動きは最高！君にしかできない動きだね。」	「友達のどんな動きを取り入れましたか。」 「自分たちに思いつかなかった動きはありましたか。」
めざす児童の姿	〇〇さんの動きをたくさん真似することができた 	動きのバリエーションが増えてきて楽しかった。 	またリズムダンスの学習をしたいな。4年生が楽しみだな。 



9 学習資料

(1) 一単位時間の指導の例

展開 1/6

①ねらい リズムダンス（軽快なロック）に進んで取り組むことができるようにする。

②展開

学習活動 使用する曲	○教師の支援等 ◆評価
1 学習の進め方を知る。(1分) 2 心と体をほぐす(9分) ・体じゃんけん ・ハイタッチ ・ハイポーズ ・よろしくねダンス ♪ブギーマン	○いろいろな友達と交流している児童を賞賛する。 ○ハイタッチは体のいろいろな部位で行うように声を掛ける。
3 学習課題の確認をする。(2分) リズムダンスに進んで取り組もう 4 教師のリードでロックのリズムの特徴を捉えながら踊る。(15分) 習得・「ウンタ ウンタ」の後打ちのリズムに乗る。 ・おへそを中心にリズムに乗り、おへそを上下に弾ませて踊る。 (1) 教師のまねをして踊る。 ・座ったまま、おへそを上下に弾ませる。 ・立ち上がり教師のまねをして踊る。 ♪Everybody Jam! (2) 2人組になってお互いの踊りをまねしながら踊る。 ♪SOBER 5 リズムの特徴を捉えた動きで、2人組で即興的に続けて踊る。2人1組で、教師の合図で即興ダンスをする人とまねして踊る人を交代しながらリズムに乗って自由に踊る。(10分) 活用・「ウンタ ウンタ」の後打ちのリズムに乗って、即興的に踊る。 ♪以心電信 ♪5, 6, 7, 8	○学習のめあてや流れを掲示する。 ○ロックの弾みや「ウンタ ウンタ」の後打ちのリズムの特徴を説明する。 ○リズムを捉えながら児童の動きが広がるように、教師が動きに変化を付けて踊って見せる。 ・体の向きを変える・ねじる・回る・跳ぶ ・素早くターン・ストップモーション ・リズムをくずす・友達とまねし合う ・友達の動きと反対の動き ○「ウンタ ウンタ」のロックのリズムを捉えて踊っている児童や、進んでリズムダンスに取り組んでいる児童を紹介する。 ○2人組は「ハイポーズ」をして偶然的に出会った児童同士で組む。「いつでも、どこでも、だれとも踊れるようにすること」を児童に伝える。 ◆リズムダンスに進んで取り組んでいる。 【関心・意欲・態度】(観察・学習カード) ○リズムダンスに進んで取り組めない児童には、「ウンタ ウンタ」のリズムでおへそを上下に弾ませる動きをするように声を掛けたり、まねできるように教師が動きを見せたりする。
7 学習の振り返り(6分) ・リズムの特徴やリズムダンスをして感じたことを学習カードに記入する。	○リズムの特徴を捉えた振り返りや進んで取り組んだ感想を取り上げる。 ○次時で使う音楽を流して意欲を高める。

展開 2/6

①ねらい ロックのリズムの特徴を捉えて、全身で弾んで即興的に踊ることができるようにする。

②展開

学習活動 ♪使う曲	○教師の支援等 ◆評価
<p>1 心と体をほぐす (5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体じゃんけん ・ハイポーズ ・よろしくねダンス ♪Everybody Jam! 	<p>○いろいろな友達とかかわったり、体育館を広く使って活動したりするように声を掛ける。</p>
<p>2 学習課題の確認をする。(2分)</p> <p>ロックのリズムで全身で弾んで即興的に踊ろう</p> <p>3 教師のリードで軽快なロックの曲で踊る。(15分)</p> <p>習得・「ウンタ ウンタ」の後打ちのリズムに乗りながら、全身を使って踊る。</p> <p>(1) 教師のまねをして踊る。 ♪Good Time</p> <p>(2) 2人組になって、お互いの踊りをまねしながら踊る。 ♪shake</p> <p>4 リズムの特徴を捉えた動きで、2人組で即興的に続けて踊る。(15分)</p> <p>活用・4つの変化の中から自分の課題を選び、「ウンタ ウンタ」のリズムに乗りながら変化を付けて踊る。</p> <p>・2人組になって、選んだ課題を取り入れて踊れているかを伝え合う。</p> <p>(1) 4つの変化から課題を選ぶ。</p> <p>(2) 2人組になりお互いに課題を伝え合う。</p> <p>(3) 選んだ課題を取り入れて、即興的に踊る。 お互いの踊りをまねしながら踊り、課題を見合う。 ♪The World is ours</p> <p>(4) 課題を取り入れて踊れているかを伝え合う。</p> <p>(5) 違う曲で、ペアを代えて行う。</p> <p>5 クーリングダウン (2分) ♪君という花</p>	<p>○学習のめあてや流れを掲示する。</p> <p>○ロックの「ウンタ ウンタ」の後打ちのリズムの特徴とおへそを中心にリズムに乗ることを確認する。</p> <p>◆ロックのリズムの特徴を捉えて、全身で弾んで即興的に踊ることができている。【技能】(観察)</p> <p>○ロックのリズムの特徴が捉えられない児童には、リズムに合わせて手拍子をしたり、「ウンタ ウンタ」とリズムを表す言葉を掛けたりする。</p> <p>○おへそを上下に動かした教師や友達の踊りを見せる。</p> <p>○ペアで向かい合って、おへそが上下に動いているかを見合うように声を掛ける。</p> <p>○4つの変化(動き・空間・リズム・かかわり)を意識しながら踊るように声を掛ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体の向きを変える・ねじる・回る・跳ぶ ・素早くターン ・ストップ ・リズムをくずす ・友達とまねし合う ・友達の動きと反対の動き <p>○2人組はタンバリンの合図で「ハイポーズ」をして決める。1時間目と違うペアで取り組ませる。いろいろな人とペアになるように声を掛ける。</p> <p>○途中で変化を付けて踊っている児童や全身で弾んで踊っている児童を見付け、全体で動きを共有する時間に紹介する。</p> <p>○課題を取り入れて踊れていなかった児童には、どのように踊ると変化が出るのか、ペア同士で伝え合うように声を掛ける。</p>
<p>6 学習の振り返り (6分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全身で弾んで踊ったことや変化を付けて踊ったことについて学習カードに記入する。 	<p>○リズムの特徴を捉えた振り返りや自己の課題解決に向けて取り組んだ振り返りを取り上げる。</p> <p>○次時で使う音楽を流して意欲を高める。</p>

展開 3/6

①ねらい サンバのリズムの特徴を知り、よい動きを見付けることができるようにする。

②展開

学習活動 音楽を使う曲	○教師の支援等 ◆評価
<p>1 心と体をほぐす (5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体じゃんけん ・ハイポーズ ・よろしくねダンス ♪Everybody Jam! 	<p>○いろいろな友達とかかわったり、体育館を広く使って活動したりするように声を掛ける。</p>
<p>2 学習課題の確認をする。(2分)</p> <p>サンバの特徴を知り、よい動きを見付けて踊ろう</p> <p>3 教師のリードでサンバのリズムの特徴を捉えながら踊る。(17分)</p> <p>習得・「ウンタッタ ウンタッタ」の2拍の中にリズムの変化があるリズムに乗る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おへそを中心にリズムに乗り、おへそを前後に動かして踊る。 <p>(1) 教師のまねをして踊る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おへそを前後に動かしながら、教師のまねをして踊る。 ♪恋のマカレナ <p>(2) 2人組になってお互いの踊りをまねしながら踊る。 ♪ボラーレ</p> <p>4 リズムの特徴を捉えた動きで、2人組で即興的に続けて踊る。2人1組で、教師の合図で即興ダンスをする人とまねして踊る人を交代しながらリズムに乗って自由に踊る。(13分)</p> <p>活用・「ウンタッタ ウンタッタ」の2拍の中にリズムの変化があるリズムに乗って、即興的に踊る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ♪サンバ・デ・ジャネイロ ♪アゲハ蝶 	<p>○学習のめあてや流れを掲示する。</p> <p>○サンバの「ウンタッタ ウンタッタ」の2拍の中にリズムの変化があるリズムの特徴を説明する。</p> <p>○教師のまねをするように声を掛ける。</p> <p>○リズムを捉えながら児童の動きが広がるように、教師が動きに変化を付けて踊って見せる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体の向きを変える・ねじる・回る・跳ぶ ・素早くターン・ストップ・リズムをくずす ・友達とまねし合う ・友達の動きと反対の動き <p>○「ウンタッタ ウンタッタ」のサンバのリズムを捉えて踊っている児童や、進んでリズムダンスに取り組んでいる児童を紹介する。</p> <p>○2人組はタンバリンの合図で「ハイポーズ」をして偶然に出会った児童同士で組ませる。前時までと違うペアで取り組むよう促す。いろいろな人とペアになるように声を掛ける。</p> <p>◆サンバのリズムに乗っている友達を見付けている。【思考・判断】(観察・学習カード)</p> <p>○サンバのリズムに乗っている友達を見付けられない児童には、おへその動きをまねできるように教師が動きを見せる。</p> <p>○リズムに合わせて手拍子をしたり、「ウンタッタ ウンタッタ」の口伴奏をしたりする。</p>
<p>5 クーリングダウン (2分)</p>	<p>○リズムの特徴を捉えた振り返りや友達のよい動きのことについての振り返りを取り上げる。</p> <p>○次時で使う音楽を流して意欲を高める。</p>
<p>6 学習の振り返り (6分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リズムの特徴や友達のよい動きについて学習カードに記入する。 	

展開 4/6

①ねらい サンバのリズムの特徴を捉えて、全身で弾んで即興的に踊ることができるようにする。

②展開

学習活動 音楽使う曲	○教師の支援等 ◆評価
<p>1 心と体をほぐす (5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体じゃんけん ・ハイポーズ ・よろしくねダンス <p style="text-align: right;">♪ボラーレ</p>	<p>○いろいろな友達とかかわったり、体育館を広く使って活動したりするように声を掛ける。</p>
<p>2 学習課題の確認をする。(2分)</p> <p>サンバのリズムで、全身で弾んで即興的に踊ろう</p> <p>3 教師のリードでサンバの曲で踊る。(15分)</p> <p>習得・「ウンタッタ ウンタッタ」の2拍の中にリズムの変化があるリズムに乗りながら、全身を使って踊る。</p> <p>(1) 教師のまねをして踊る。♪Swing de Rua</p> <p>(2) 2人組になって、お互いの踊りをまねしながら踊る。♪ステップ・トゥ・ステップ</p> <p>4 リズムの特徴を捉えた動きで、2人組で即興的に続けて踊る。(15分)</p> <p>活用・4つの変化の中から自分の課題を選び、「ウンタッタ ウンタッタ」のリズムに乗りながら変化を付けて踊る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2人組になって、選んだ課題を取り入れて踊れているかを伝え合う。 <p>(1) 4つの変化から課題を選ぶ。</p> <p>(2) 2人組になりお互いに課題を伝え合う。</p> <p>(3) 選んだ課題を取り入れて、即興的に踊る。 お互いの踊りをまねしながら踊り、課題を見合う。♪カップ・オブ・ライフ</p> <p>(4) 課題を取り入れて踊れているかを伝え合う。</p> <p>(5) 違う曲でペアを代えて行う。♪風になりたい</p> <p>5 クーリングダウン (2分)</p>	<p>○学習のめあてや流れを掲示する。</p> <p>○サンバの「ウンタッタ ウンタッタ」の2拍の中にリズムの変化があるリズムの特徴とおへそを中心にリズムに乗ることを確認する。</p> <p>◆サンバのリズムの特徴を捉えて、全身で弾んで即興的に踊ることができている。【技能】(観察)</p> <p>○サンバのリズムの特徴が捉えられない児童には、リズムに合わせて手拍子をしたり、「ウンタッタ ウンタッタ」とリズムを表す言葉を掛けたりする。また、おへその動きをまねできるように、おへそを前後に動かした教師や友達の踊りを見せる。</p> <p>○4つの変化(動き・空間・リズム・かかわり)を意識しながら踊るように声を掛ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体の向きを変える・ねじる・回る・跳ぶ ・素早くターン ・ストップ・リズムをくずす ・友達とまねし合う ・友達の動きと反対の動き <p>○2人組はタンバリンの合図で「ハイポーズ」をして決める。前時までと違うペアで取り組むよう促す。いろいろな人とペアになるように声を掛ける。</p> <p>○途中で変化を付けて踊っている児童や全身で弾んで踊っている児童を見付け、全体で動きを共有する時間をとる。</p> <p>○課題を取り入れて踊れていなかった児童には、どのように踊ると変化が出るのか、ペア同士で伝え合うように声を掛ける。</p>
<p>6 学習の振り返り (6分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全身で弾んで踊ったことや変化を付けて踊ったことについて学習カードに記入する。 	<p>○リズムの特徴を捉えた振り返りや自己の課題の解決に向かって取り組んだ振り返りを取り上げる。</p> <p>○次時の学習内容を予告する。</p>

展開 5/6

①ねらい 動きに変化を付けて踊ったり、友達とかかわり合って踊ったりすることができるようにする。

②展開

学習活動 音楽使う曲	○教師の指導支援 ◆評価
<p>1 心と体をほぐす (5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円形コミュニケーション ・即興リズムダンス <p style="text-align: right;">♪ボラーレ</p>	<p>○リズムに乗って、おへそを前後に動かすことを意識するように言葉を掛ける。</p> <p>○教師のまねをするように声を掛ける。</p>
<p>2 学習課題の確認をする。(2分)</p> <p>リズムダンス交流会に向けて、友達と一緒に踊りに変化を付けて踊ろう</p> <p>3 教師のリードで軽快なロック、サンバのリズムの特徴を確認しながら踊る。(10分)</p> <p>習得・ロックやサンバのリズムの特徴の違いを捉えて踊る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・踊りに4つの変化を付けて踊る。 ・変化を付けた後に、ロックやサンバのリズムに戻して踊る。 <ul style="list-style-type: none"> ・教師のまねをしてロックとサンバの曲で踊る。 <p>4 リズムダンス交流会で踊る踊りをまとめる。(20分)</p> <p style="text-align: center;">♪shake ♪サンバ・デ・ジャネイロ</p> <p>活用・これまでの学習で見つけてきたお気に入りの動きに4つの変化を取り入れて、30秒程度の踊りにまとめる。</p> <p>(1) 2人組になって、4つの変化からロックの曲とサンバの曲のそれぞれで組み合わせる課題を選ぶ。</p> <p>(2) 選んだ課題を組み合わせる30秒程度の踊りにまとめる。♪君という花 ♪shake</p> <p>(3) 2人組同士でグループを作り、お互いに選んだ課題を伝え合う。</p> <p>(4) 次時で扱うロックの曲でまとめた踊りをまねしながら見合い、課題を取り入れて踊れているかを伝え合う。</p> <p>(5) 次時で扱うサンバの曲で行う。</p> <p>♪サンバ・デ・ジャネイロ ♪アゲハ蝶</p>	<p>○学習のめあてや流れを掲示する。</p> <p>○ロックの「ウンタ ウンタ」、サンバの「ウンタッタ ウンタッタ」のリズムの特徴を確認する。</p> <p>○4つの変化(動き・空間・リズム・かかわり)を意識しながら踊るように声を掛ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体の向きを変える・ねじる・回る・跳ぶ ・素早くターン ・ストップ・リズムをくずす ・友達とまねし合う ・友達の動きと反対の動き <p>○2人組はタンパリンの合図で「ハイポーズ」をして決める。前時までと違うペアで取り組ませる。いろいろな人とペアになるように声を掛ける。</p> <p>◆ロックとサンバのリズムの特徴を捉えて、全身で弾んで即興的に踊ることができている。</p> <p>【技能】(観察)</p> <p>○ロックやサンバのリズムの特徴が捉えられない児童には、リズムに合わせておへそを上下や前後に動かすように声を掛けたり、おへその動きを教師が見せたりする。</p> <p>○途中で変化を付けて踊っている児童や全身で弾んで踊っている児童を見付け、全体で動きを共有する時間に紹介する。</p> <p>○課題を取り入れて踊れていなかった児童には、どのように踊ると変化が出るのか、ペア同士で伝え合うように声を掛ける。</p>
<p>5 クーリングダウン (2分)</p>	<p>○自己の課題解決に向かって取り組んだ振り返りを取り上げる。</p> <p>○次時の学習内容を予告する。</p>
<p>6 学習の振り返り (6分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全身で弾んで踊ったことや変化を付けて踊ったことについて学習カードに記入する。 	

展開 6/6

①ねらい 友達のよい動きを自分のリズムダンスに取り入れることができるようにする。

②展開

学習活動	○教師の指導支援 ◆評価
<p>1 心と体をほぐす (5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円形コミュニケーション ♪Everybody Jam! ・即興リズムダンス 	<p>○リズムに乗って、おへそを上下に動かすことを意識するように言葉を掛ける。</p> <p>○教師のまねをするように声を掛ける。</p>
<p>2 学習課題の確認をする。(2分)</p> <p>友だちのよい動きを自分のリズムダンスに取り入れて踊ろう</p> <p>3 リズムダンス交流会を行う。(30分)</p> <p>活用・前時にまとめた 30 秒程度の踊りを踊る。 ・友達の踊りをまねして、自分の踊りに取り入れる。</p> <p>(1) 前時でまとめた踊りを踊りながら振り返る。</p> <p>(2) 10 人ずつ 4 つのグループになり、円形に並ぶ。♪Everybody Jam! ♪ボラーレ</p> <p>(3) 2 人ずつ順番に円の中心に入る。中心の児童はロックの曲でまとめた踊りを踊る。周りの児童は、中心の友達の踊りをまねして踊る。(2曲)</p> <p>♪君という花 ♪shake</p> <p>(4) 友達のよい動きを自分のリズムダンスに取り入れて、ロックの曲で踊る。(1曲)</p> <p>♪5, 6, 7, 8</p> <p>(5) 2 人ずつ順番に円の中心に入る。中心の児童はサンバの曲でまとめた踊りを踊る。周りの児童は、中心の友達の踊りをまねして踊る。(2曲)</p> <p>♪アゲハ蝶 ♪サンバ・デ・ジャネイロ</p> <p>(6) 友達のよい動きを自分のリズムダンスに取り入れて、サンバの曲で踊る。(1曲)</p> <p>♪カップ・オブ・ライフ</p> <p>4 クーリングダウン (2分)</p>	<p>○学習のめあてや流れを掲示する。</p> <p>○曲を流しながら、前時の 2 人組で、踊りの確認をするように声を掛ける。</p> <p>○リズムの特徴を捉えている動きや 4 つの変化を組み合わせている動きを見付けるように声を掛ける。</p> <p>○教師の合図で中心の児童を交代する。</p> <p>◆友達のよい動きを自分のリズムダンスに取り入れることができている。 【思考・判断】(観察・学習カード)</p> <p>○リズムの特徴を捉えている動きや 4 つの変化を取り入れている動きを思い出して、その動きを取り入れるように声を掛ける。</p> <p>○教師の合図で中心の児童を交代する。</p> <p>◆友達のよい動きを自分のリズムダンスに取り入れることができている。 【思考・判断】(観察・学習カード)</p>
<p>5 学習の振り返り (6分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の課題や見付けた友達のよい動き、リズムダンスのおもしろさについて学習カードに記入する。 	<p>○見付けた友達のよい動きの感想などを取り上げる。</p> <p>○単元を通してリズムダンスはどうだったかを話し合うよう声を掛ける。</p>

(リズムに乗って)

①オオカミさん、今何時？

～低学年向け～

オオカミさん、今何時？

洗濯の時間！

オオカミさん、今何時？

宇宙遊泳の時間

進め方
 羊「オオカミさん、今何時？」
 オオカミ「洗濯の時間」
 羊「オオカミさん、今何時？」
 オオカミ「宇宙遊泳の時間」
 羊「オオカミさん、今何時？」
 オオカミ「12時！」

<授業の展開例>
 羊の子が「オオカミさん、今何時？」と聞きながらオオカミに近づいていく。「〇〇の時間！」とオオカミの児童が言ったら羊の児童はその動きを模倣する。「夜中の12時！」と言ったら羊の子はつかまらないように逃げるという遊び。

<指導のポイント>
 ①だるまさんがころんだの要領で行う。
 ②なりきって動いている児童を見つけてほめる。
 ③「洗濯の時間」と言われたら洗濯の模倣をする。
 ④他に「宇宙遊泳している時間」「花火が飛び散っている時間」などいろいろな時間の場面を設定して行う。

(リズムに乗って)

②怪獣になろう

～低学年向け～

大きな怪獣

火をふく怪獣

空飛ぶ怪獣

教師「怪獣になろう！」手拍子「ちゃん、ちゃん、ちゃちゃちゃん」
 教師・児童「怪獣になろう！」手拍子「ちゃん、ちゃん、ちゃちゃちゃん」×3
 教師「大きな怪獣！」 児童 大きな怪獣を即興的に表現「がー、がー」
 教師「小さな怪獣！」 児童 小さな怪獣を即興的に表現「がー、がー」
 教師「火をふく怪獣！」 児童 火をふく怪獣を即興的に表現「がー、がー」
 教師「空飛ぶ怪獣！」 児童 空飛ぶ怪獣を即興的に表現「がー、がー」
 教師「仲間を見つけて！」 児童「がー、がー」
 教師「ジャンケン勝負だ！」 児童「がー、がー」
 教師「ジャンケン、ジャンケン、ジャンケンポン！」(体ジャンケン)
 児童「ジャンケン、ジャンケン、ジャンケンポン！」(児童同士で)

<授業の展開例>
 ①勝った喜び、負けた悔しさを体で表現する。
 ② 勝ったもの同士、負けたもの同士が次のペアになって対戦する。

<指導のポイント>
 ① 教師のリードで怪獣になりきらせる。
 ② 全身を使って大きな声で怪獣になりきらせる。ジャンケンに勝つと、「小さな怪獣」→「大きな怪獣」→「空飛ぶ怪獣」の順に 進化していく。

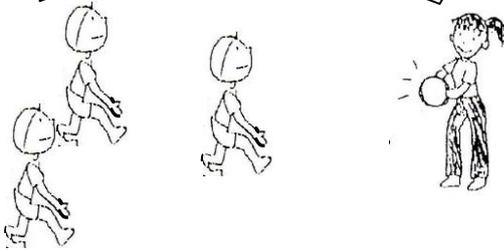
③ トントントン 何の音

～低学年向け～

風の音

何の音？

トントントン



雨の音

<指導のポイント>

- ① 強弱を付けてリズム太鼓をたたき、児童の動きに幅が広がるようにする。
- ② 「ポーズ」の合図で静止させ、動きにストップモーションを取り入れることで動きの工夫につなげる。
- ③ 発展内容として「ゾウが水浴びしている音」などというように簡単なお話にして動けるようにする。

<授業の展開例>

- | | |
|------------|-----------------|
| 教師「トントントン」 | 児童「何の音」 |
| 教師「風の音」 | 児童 風になって動き |
| 教師「はい、ポーズ」 | 児童 ポーズをとって静止する。 |

④ ♪ たまご たまご ♪

(歌を歌って)

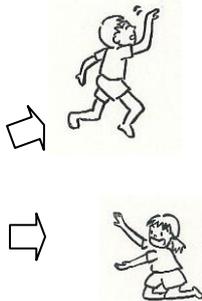
～低学年向け～

たまごになる



たまごから
様々な動物が
うまれるよ！

たまごを割る



進め方

ミッキーマウスマーチの替え歌を歌いながら

- | | |
|---------------------|------------------|
| 教師 ♪たまご、たまご、生たまご | 児童 ♪たまご、たまご、生たまご |
| 教師 ♪たまごー | 児童 ♪たまごー |
| 教師 ♪たまごー | 児童 ♪たまごー |
| 教師 ♪どんな たまごかわってみよう！ | 児童 ♪とんとんとん |

(リズム太鼓も とんとんとん)

(リズム太鼓どとどど……) 児童 ♪ばりばりばり

- | | |
|--------------------|---------------|
| 教師 「ひよこだ！」 | |
| 教師 ♪ひよこ、ひよこ、ひよこだよ！ | ひよこ、ひよこ、ひよこだよ |
| 児童 ♪ひよこ、ひよこ、ひよこだよ！ | ひよこ、ひよこ、ひよこだよ |

<指導のポイント>

- ① 教師のリードでいろいろな動物になりきらせる。
- ② リズム太鼓の音の強さに合わせて、たまごを割る動きをさせる。
- ③ 小さいもの、大きいもの、動きの速いもの、遅いもの、動きに違いのあるものを提示するとよい。

<授業の展開例(工夫例)>

- ① 教師のリードで様々な動物に変身して遊ばせる。
- ② 動物以外に乗り物、アニメキャラクターなどテーマを決めて変身して遊ばせる。
- ③ 変身するものを決めて、それが「〇〇した」など簡単な話を教師が提示してなりきって遊ばせる。

(歌を歌って)

⑤ ♪ 森のくまさん ♪

犬



ゴリラ



かいじゅう



進め方

教師 ♪ 「ある日」 児童 ♪ 「ある日」
 教師 ♪ 「森の中」 児童 ♪ 「森の中」
 教師 ♪ 「〇〇さんに」 児童 ♪ 「〇〇さんに」
 教師 ♪ 「出会った」 児童 ♪ 「出会った」
 教師 ♪ 「花咲く森の道、〇〇さんに出会った」
 教師：太鼓でポン
 ・2人組で行う。一人は〇〇役。一人

<授業の展開例>

- ① 教師のリードでいろいろな動物に変身して遊ぶ。
- ② 動物以外に様々なものに変身して遊ぶ。

<〇〇に入る言葉の例>

- ・ライオン・ゴリラ・へび・かいじゅう・お化け
- ・宇宙人・先生・赤ちゃん・空飛ぶ円盤 等

<指導のポイント>

- ① 教師のリードでいろいろな動物になりきらせる。
- ② 2人組になって役割を決めて行わせる。
- ③ 小さいもの、大きいもの、動きの速いもの、遅いものと動きに違いのあるものを提示するとよい。

(ゲームを生かして)

⑥ だるまさんの 一日

～低学年向け～



だるまさんが…



おどろいた!



<授業の展開例>

だるまさんが 〇〇した の例

- ・歯を磨いた
- ・ご飯を食べた
- ・お風呂に入った など

<指導のポイント>

- ① 「だるまさんがころんだ」と同じ要領で行う。
- ② 鬼が振り向いたら、**ポーズをとって静止させる。**
- ③ 鬼は教師が行い、慣れてきたら児童にも行わせる。

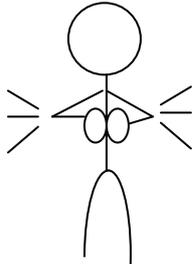
～低学年向け～

やきいもグーチャーパー

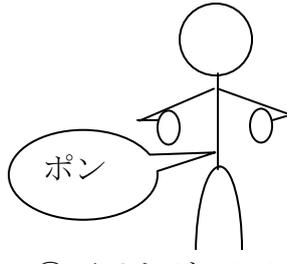
出典 日本幼年教育研究会／株式会社メイト
「あつという間に 子どもとなかよし
The 手あそび・歌あそび Best50+1」
編者 内尾眞子 発行人 竹井 純
♪やきいも♪
作詞 阪田 寛夫 作曲 山本 直純

1 番♪ ①やきいも やきいも ②おなかが グー

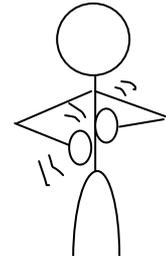
③ほかほか ほかほか



①歌に合わせて手をたたく

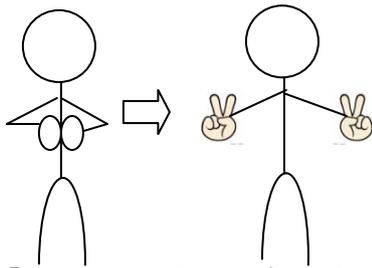


②両手をグーにして、おなかを



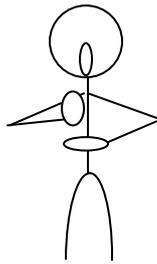
③両手をフワフワと動かす

④あちの チー



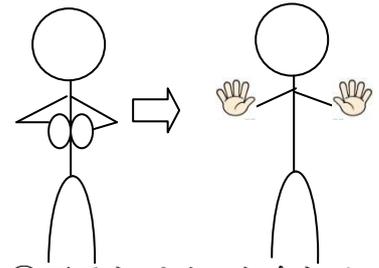
④両手をパチッと合わせ、「チー」でチョキを出す

⑤たべたら なくなる



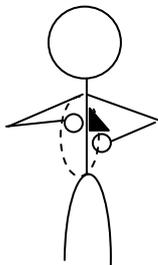
⑤左手をお皿にして、右手でパクパクと食べる動作を

⑥なんにも パー それ



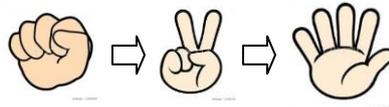
⑥両手をパチッと合わせ、「パー」で両手をパッと開

⑦やきいも じゃんけん



⑦手をグーにして うでを回す

⑧グー チー パー



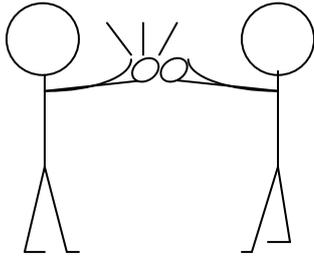
⑧グー、チョキ、パーを順に出し、教師、もしくは、リーダーとじゃんけんをする

～低学年向け～

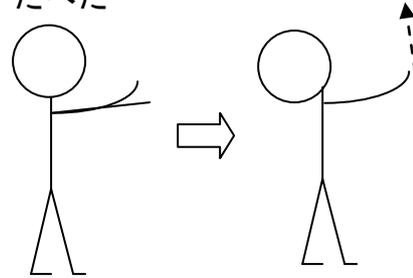
くいしんぼ ゴリラのうた

出典 株式会社メイト
「The Best50 手あそび 歌あそび」
発行人 竹井 亮
♪くいしんぼ ゴリラのうた♪
作詞・振付 阿部 直美
作詞 おざわ たつゆき

1 番♪ ①くいしんぼな ゴリラが バナナを
みつけた



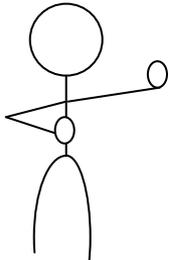
②かわむいて かわむいて パクンと
たべた



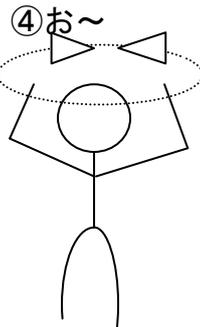
①二人組になって向き合い、それぞれ拍手を1回し
次に3回、相手と手を合わせる これを2回繰り
返す

②皮をむく動作の後、上にバナナを投げ、
口を開けて食べる仕草をする(2番も同じ)

③ドンドコ ドンドン ×

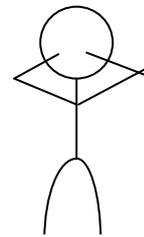


③手をグーにして、左右
交互に胸をたたく



④「お～」の
大きく1回 回す

⑤うまい

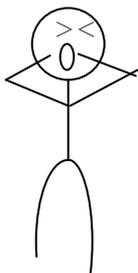


⑤「うまい」で 手をほほに
あてる(2番、3番も同じ)

2 番♪バナナをレモンに変えて

①～④までを繰り返す

⑤すっぱい

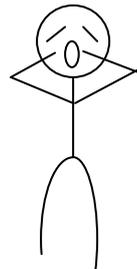


⑤「すっぱい」で 手をほほに
あて、すっぱい顔をする

3 番♪バナナをたまねぎに変えて

①～②までを繰り返す

③たべるところが なくなった
ドンドコドンドン うえ～ん



③「たべるところがなくなった」は、
驚く表情をして、「ドンドコドンド
ン」は、③と同じ胸をたたく。「うえ
～」で泣くしぐさをする

⑦円形コミュニケーション

～中学年向け～



ジャンプして弾んで踊ったり、スキップしたりしてみよう。



足を高く上げたり、隣の人と手拍子を合わせたりしてみよう。

＜授業の展開例＞

- 軽快なロックのリズムの音楽に乗って教師のリードで踊る。(曲 ♪ブギーマン)
- リズムに乗って全身を弾ませたり、体をねじったり教師の動きをまねして踊る。

＜指導のポイント＞

- 全身を使った簡単な動きで踊ることを繰り返させ、楽しい雰囲気の中で心拍数を上げる運動をさせることで、心と身体が自然とほぐれるようにする。
- 全員が見える円形で一緒に踊ることで一体感をもって踊れるようにする。

⑧ストレッチ

～中学年向け～

ゆっくり上に持ち上げる



ゆらすよ



引っぱり合い



＜指導の展開例＞

- 呼吸をゆっくりさせながら、全身を徐々に伸ばすようにストレッチする。
- いろいろな姿勢でストレッチを交替させながら行わせる。

＜指導のポイント＞

- 無理に伸ばさせず、「痛くない？」と声を掛けながらかわりをもたせて行わせる。

⑨ハイタッチ

～中学年向け～



＜指導の展開例＞

- リズム太鼓の「ドンドンドン」音に合わせて、体育館のフロアを走り回せる。
- リズム太鼓の「ドン」の合図ですれ違った友達とハイタッチをさせる。

＜指導のポイント＞

- 「片手」、「両手」、「おしり」など体のいろいろな部位でタッチをさせる。
- スキップやサイドステップなどいろいろな走り方でやらせると楽しさが広がっていく。

(3) 本単元で使用した易しい運動

『よろしくね ダンス』 ♪Everybody Jam!/Scatman John (なんでもよい)

リズムダンスの学習では、その特性とねらいが生きるように、「リズムに乗って弾んで踊る、自由に踊る、友達とかかわって踊る」の3つが大切になってくる。

児童全員が、体全身でリズムに乗って、心も体も解放して、踊る欲求に高めさせることから学習はスタートする。

そこで、児童がより意欲的にかつ楽しんで取り組むことのできる“易しい運動”をリズムダンス運動の導入の段階で取り入れる。本部会では、易しい運動として、「よろしくねダンス」を提案する。

音楽に合わせて体を弾ませることで、息も心も弾ませることができる。また、友達と関わり合って踊る隊形で行うことで、踊る楽しさも倍増し、自然と恥ずかしさがなくなり、解放的な気持ちになる。

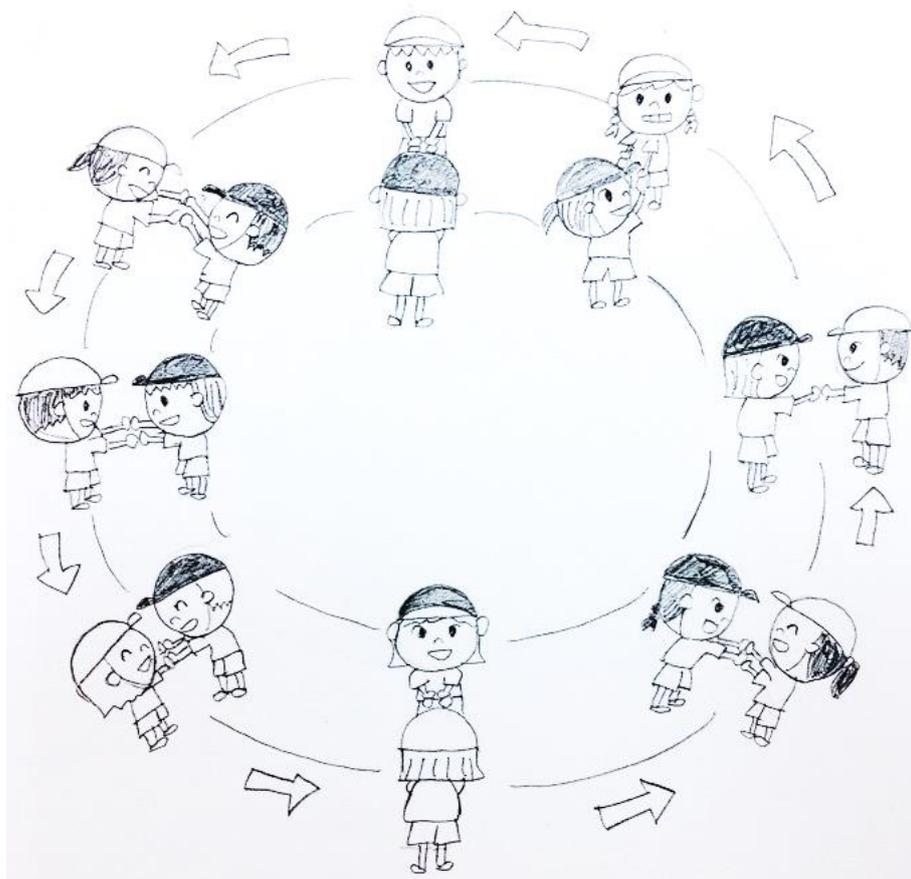
また、始めにリズムの乗り方の基本を経験することで、いろいろな場面に生かすことができ、主運動へスムーズに繋がっていく。さらに、心身を解放して思い切り踊る楽しい体験ができれば、子どもたちは意欲的にリズムダンスの学習に取り組むことができる。

隊形

※リズムは8カウントずつ

※二重の円になって、向かい合う

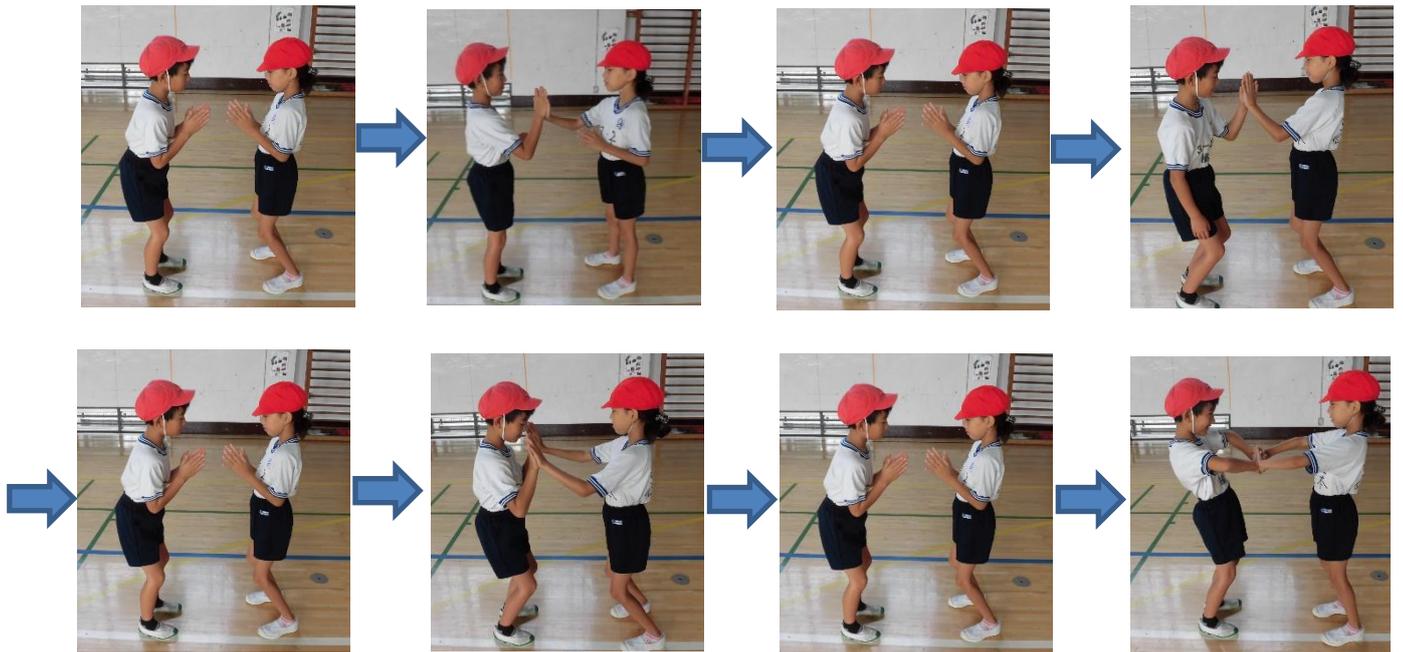
④のタイミングで
外側の人だけ矢印の
方向に移動する。



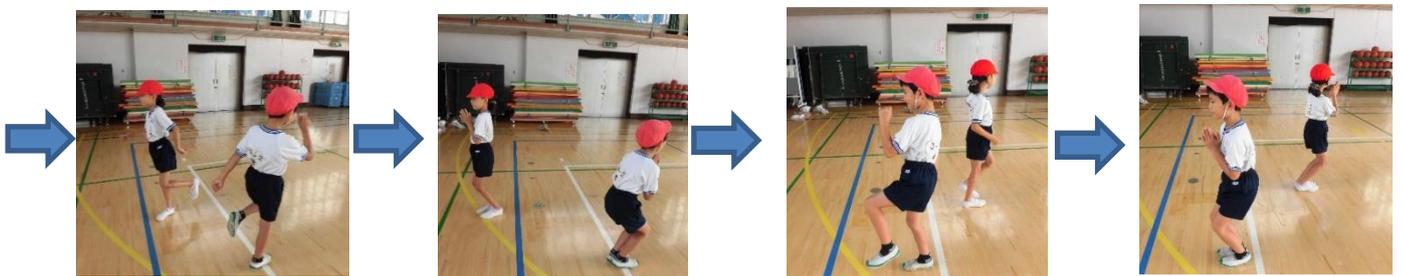
東京都小学校体育研究会ホームページからでもご覧いただくことができます！

URL→ <http://www3.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1350006>

- ① パン・右・パン・左・パン・両手・パン・組んでタッチひざでリズムをとりながら行う。
(アルプス一万尺)



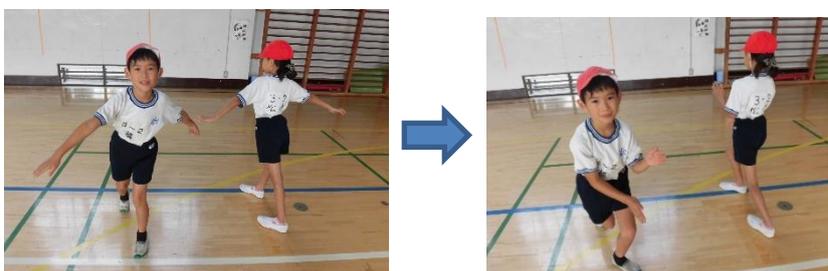
- ② 右に4歩。4歩目に手をたたく。左に4歩。4歩目に手をたたく。



- ③ 顔の前で小さい波を2つ。全身をつかって大きな波を2つ。



- ④ セーフ・チャチャチャ、手を降りながら、外側の人だけが移動する。



※①～④をくり返す

(4) リズムダンスにおける4つの工夫について

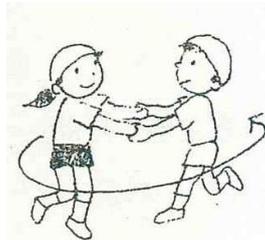
リズムダンスのよい動きとは、「全身でリズムに乗って弾んで踊っているか」である。振りを習い、覚えて踊るのではなく、創造的で自由に踊ることがよい動きにつながっていく。自由に踊るときのヒントとして、「4つの変化」がある。「変化」が入ると、リズムの乗り方や動きに変化が生まれ、とぎれずに踊り続けることができる。よい動きを引き出すための例として以下の4つに整理した。「習得」の場面で体験させ動きの多様性を学ばせる)

動きの変化

ねじったり、回ったり、体の状態をいろいろ変えてみる。(極限の動きが非日常の動きになる)

体をねじる

体を回す



ねじって回るなど組み合わせ合わせて踊る。



跳ぶ。体の状態をいろいろ変えてみよう。

リズムの変化

素早く、ゆっくり、ストップ、巻き戻し等。(リズムの速さの変化がメリハリのある動きへ)

リズムに乗って弾む

素早い動き

ストップ

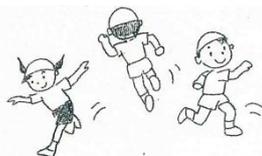
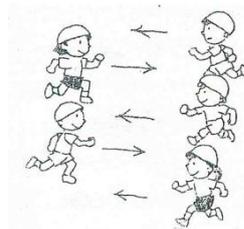


リズムをくずす瞬間をつくり、リズムへの乗り方を深めよう。

空間の変化

方向や場の使い方の変化。心身の解放は、まず「空間の変化」から。

スキップで移動



人のいない所へ。自分の居場所をつくらないようにしよう。

かかわりの変化

手をつないだり、離れたり、くっついたり、くぐり抜けたり、一人ではできない動きに挑戦。

友達と手をつなぐ

くっついたり離れたり



友達と調子を合わせたり対応したり



一人ではできない動きに挑戦しよう。いろいろな関わり方で踊ろう。

(5) 表現運動系領域におけるめあて学習の考え方

めあて学習を設定する理由

学校体育実技指導資料 第9集によると、「ダンス系」領域の学習は、児童生徒一人一人やグループの願いを創造的に実現していく課題解決的な学習に特徴がある。したがって、ある特定の技や技能を身に付けることをねらいとした学習ではなく、それぞれの個性や違いを生かした動きを生み出していく過程を大切にしながら複線的な学習が基本となる。つまり、合理的なフォームと比較して、どうすればそのフォームに近付くのかを課題とするのではなく、どうすれば「みんなのよさが生き、一層みんながよくなるのか」を課題とし、その解決に向けて創意工夫することが大切である。

曲を流し踊っているだけでは、子どもの願い・思いは生まれてこない。リズムに合わせて体を動かす中で、「どんなふうに楽しみたいか」「より楽しくするためにはどうしたらよいか」などのめあてが生まれる。リズムダンスにおけるめあて学習は、「楽しさを追求していく学習」であると捉え、毎時間個人のめあてを設定することとした。

めあてのめあてせ方 ※ 例は第2時について

① 選択肢を与えて

・いくつか例示して選ばせる。

- (例) ロックのリズムに乗って、楽しく踊ろう。
- ロックのリズムに乗って、全身で踊ろう。
- ロックのリズムに乗って、工夫して踊ろう。

この中から、自分に合っためあてを選ぼう！！



② キーワードを与えて

・このキーワードを入れて、自分に合っためあてを立てさせる。

- (例) ロックのリズムに乗って、工夫しておへそを前後にゆらして踊ろう。
- ロックのリズムに乗って、楽しくいろいろな人と踊ろう。
- 上下に体を動かし、ロックのリズムに乗る。

「ロックのリズム」という言葉を入れて、めあてを書いてみよう。



③ 発問で

・言葉掛けを、疑問形にする。

- (例) リズムを変化させたり、動きを工夫したりして、ロックのダンスを踊ろう。

どんな変化を付けて、どんなダンスを踊りたいかな。4つの変化の掲示物を見て、めあてを立ててみよう。



④ 学習カードで

・本時の振り返りから次時のめあてをもたせる。めあてが合っていない場合は、教師が助言する。

- (例) ふりかえり・・・自分で動きを考えるのが難しかった。

めあて ……おへその位置を変えながら、回ったり跳んだりして動きを工夫して踊ろう。

みんなでやった動きで、どれが取り入れられそうかな。4つの変化の掲示物から、できそうな動きを選んでみよう。



(6) 教師用授業イメージマンガ

レッツ北野ダンシング 学習カード

月 日 ()

今日のめあて

ロックのリズムに乗って、全身でおどろう



<学しゅうをふりかえて> ◎大変よくできた ○よくできた △もう少し

①すすんで楽しくおどることができた。	
②だれとでも なかよくおどることができた。	
③まわりの友だちと ぶつからないようにおどることができた。	
④ウンタ、ウンタのリズムでおどることができた。	

<今日のベストダンサー>

☆No.1 ☆	さん
どんなところがよかった？	

<授業を終えて分かったことは何？>

めあての立て方については別紙資料をご覧ください。第1時、第3時はこちらであらかじめ決めておきます。ロック、サンバの始めの時間であり、習得の時間が長いからです。

ここでは、評価の重点になっている項目を3段階(◎○△)でいくつか評価します。また、第1時では、ウンタのリズムを知識として理解できたかも評価します。

第1時と第3時はロックとサンバとの出会いなので1時間の中で自分は何を学ぶことができたのかを記述します。

第2時と第4時では、友達のどんな動きを取り入れたのかを記述します。見付ける、取り入れることで思考・判断の評価を行うことができます。また、活用の時間が多くなるので、自分の動きはどうだったのか次時に活かす振り返りをします。

第6時は単元を終えてどんなことを自分は学ぶことができたのかを記述します。

ここでは、友達の動きを見ているのかを見取ります。(よい動きを見付ける)どんな動きをしているか具体的に書いていれば思考・判断の評価もできます。

児童の振り返り(例)

- ・ロックのリズムにのって工夫して踊ることができた。また、リズムにのって楽しくやりたい。
- ・自由におどって楽しむことができた。
- ・スローモーションで立ち上がる工夫ができた。
- ・新しい動きができた。

教師のコメント(例)

- ・友達のいい動きを取り入れることができたね。【思】
- ・リズムを工夫しながら楽しくおどることができたね。【技】
- ・新しい動きも入れて工夫しておどれてすばらしい。【技】
- ・全身で踊っている姿がとてかっこよかったよ。【関】
- ・いろいろな動きをして自由におどることができたね。【技】
- ・友達のよい動きを見付けることができたね。【思】
- ・たくさん踊ることができたね。今度は友達のまねをしてみよう【思考】

(9)BGMリスト

♪…軽快な曲

☆…ビートの強い曲

	曲名	アーティスト名	商品 ID	
ロ ッ ク	♪ Everybody Jam!	Scatman John	BVCP-937	
	♪ Scatman's World	Scatman John	BVCP-7479	
	♪ 5,6,7,8	Steps	AVCD-11917	
	♪ GUTS!	嵐	JACA-5402	
	♪ 以心電信	ORANGE RANGE		
	♪ Shake It Off	Taylor Swift	POCS-24009	
	♪ Happy	Pharrell Williams	SICP-4129	
	☆ Girls Just Want To Have Fun	Cyndi Lauper	MGM009	
	☆ Morning Train	Sheena Easton	(B00000JQIL)	
	♪ I Want You Back	The Jackson5	B002PQ1PDI	
	♪ Ob-La-Di, Ob-La-Da	The Beatles		
	☆ おしゃれ番長	ORANGE RANGE	SRCL-6891	
	♪ チャンピオーネ	ORANGE RANGE	SRCL-6263	
	♪ Girlfriend	Avril Lavigne	BVCP-29620	
	☆ U Can't Touch This	MC Hammer	B000921K4	
	♪ shake	SMAP	VICL-60726	
	♪ JOY!!	SMAP	VICL-38033	
	♪ アゲハ蝶	ポルノグラフィティ	SRCL-5104	
	♪ 1・2・3・4 Gimme Some More	D.D.Sound	1987339	
	♪ Rock Around The Clock	Bill Haley&His Comets	XAT-124548264 4	
	♪ Crazy Beat Goes On	DA PUMP	BOOUXAEQSE	
	☆ Beat It	Michael Jackson		
	♪ フラッシュ	表現運動・ダンス CD1 共同テレビジョン		
	♪ ブギーマン	表現運動・ダンス CD1 共同テレビジョン		
	♪ The World is ours	ナオト インティライミ	UMCK-5474	
	☆ What the Well	Avril Lavigne	SICP-2777	
	♪ Call Me Maybe	Carly Rae Jepsen	B001681032	
	☆ Live While We're Young	One Direction	88725473062	
	☆ What Makes You Beautiful	One Direction		
	サ ン バ	Swing de Rua	ラテン音楽紀行-ブラジル・サンバ編	
		Hush	Kollected-The BestOf Kula Shaker	
		Good Time	Owl City & Carly Rae Jepsen	
サンバ・デ・ジャネイロ		BELLINI	TOCP-65192	
カップ・オブ・ライフ		Ricky Martin	ESCA-6992	
ボラーレ		Gipsy Kings	SRCS-2384	
マカレナ		クラブディズニースーパーダンシンマニア	AVCW-12078	
風になりたい		THE BOOM	SRCL-3095	
ステップ・トゥ・ステップ		表現運動・ダンス CD1 共同テレビジョン		
トゥギャザー		表現運動・ダンス CD1 共同テレビジョン		
リオ2010		表現運動・ダンス CD1 共同テレビジョン		
マカロニサンバ		表現運動・ダンス CD1 共同テレビジョン		

曲名リストの他にも
各学年の指導動画や、
学習カード、指導案な
どを見ることができ
ます!